

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
1	県内に支店が無い東京三菱銀行を受け皿にするのが好ましい。県内の銀行にすると寡占状態になり発展がなくなる恐れがある。	一民間企業だけ支援するのはおかしい。出資する必要は無い。
2	足利銀行の倒産には独占企業の弊害があったのではないかと。栃木銀行や各信用金庫・信用組合及び労働金庫等に営業譲渡を行い、それぞれの金融機関がそれぞれの弱点を補えるように、足利銀行の支店(資産)や人材をうまく振り分けていけば、銀行間の健全な競争や営業努力が行われるのではないかと。	県民銀行という案もあるが、税金の増収が望めず行政の分割民営化が進む中で、行政が銀行を作るということには賛成できない。
3	みずほ銀行に受け皿になってもらいたい。	民間企業なので、県による出資の必要はない。
4	民間の金融機関を希望する。	この厳しい時代に県民の税金を投入するのは、適わない。
5	税金を有効利用	「不良債権の受け皿としての県民銀行」の設立には大反対 返済不可能な債権を受け皿銀行で受けても、税金で穴埋めすることが見えている。会社も受け皿銀行を利用すると信用を失墜する。受け皿銀行を作っても利用する会社が皆無であろう。その広報や維持費に栃木県の税金が投入される危険がある。 受け皿に数百億円の税金を投入するのであるならば、起業や創業の補助、融資による雇用の受け皿や産業活性化に新産業育成、あるいはNPOやボランティアや支援に使う方が効果的
6	足銀の代わりは他の銀行でもできる。たとえば栃木銀行	小企業では足銀を利用できなかった。足銀を利用できたのは大企業か大金持ちだけ。だから足利銀行に対して、これ以上の税金は使わないで欲しい。
7	足銀が栃木銀行と合併すると栃木県において唯一無二の大銀行になる。それが適正な姿と言えるのか疑問。 理想は、足利銀行が都市銀行の持ち株会社の傘下に入って、組織としては独立性を保ち、地域金融機関としてのこれまでの役割を継続すること	出資が必要なケースは栃木銀行と合併以外には考えられない。 足銀への増資で700億円近くが紙くずとなり、県内企業等には出資の余力がない。 県等が出資する県民銀行は、政治が融資等の業務へ介入し公平性が保てない。 出資にも、栃木銀行との合併にも反対。県が出資をする状況は適当な受け皿でない。
8	銀行業は規模で補わなければ経営が成り立たない。受け皿は、4大メガバンクの中で最も健全経営をしている銀行が望ましい。 第2候補は、栃木銀行。不良債権が少ないらしい点が良い。 ただし、足銀査定の不良債権ではなく実際の不良債権や訴訟の被告であるといった経営を圧迫するものは、一切切り離して引き継ぐことが必要 また、融資について県が口出しするようなことは一切あってはならない。	受け皿銀行については、国に対して意見を言うのみでよい。 県は足銀へ出資し出資金を全額喪失しているのだから、次の出資はありえない。 銀行経営についても口を挟むべきではない。
9	受け皿を議論する前に過去の経営陣の経営責任を明確にしてほしい。	
10	外資系の企業や東京三菱銀行との統合は絶対に避けなければならない。 経営が安定している栃木銀行との統合が望ましい。	県は受け皿に積極的に関与し、足銀が地元の銀行として残るように努力してほしい。 県は出資も含め全力で支援してほしい。
11	外資系の企業や東京三菱銀行との統合は絶対に避けなければならない。 地元の銀行として経営も安定している栃木銀行との統合が望ましい。	足銀が地元の銀行として残るように県は積極的に関与してほしい。 県は出資も含め全力で支援してほしい。
12	県民の資金が県外に持っていかれることは避けなければならない。 地元企業の育成と栃木県の経済発展のために地元銀行として残ってほしい。 栃木銀行と統合し、地元の金融機関として再生してほしい。	県は出資も含め全力で支援してほしい。

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
13	県内企業活性化のためには県内金融機関との合併が望ましいと思うが、預金者等の債権確保のためには都市銀行との合併も必要である。	受け皿金融機関への県からの出資は必要ない。
14	我が家の貴重な財産を預ける銀行なので、倒産することがないような銀行が良い。運転ができないので、市内に銀行の支店がある銀行でないと困る。	県が足利銀行の業務を引き継ぐ銀行に出資することには反対 県や市町村は足利銀行に膨大な額の出資をして、その株が無価値になった。今回その危険性はある。 私たちの貴重な税金は、教育や福祉、治安対策などに使って欲しい。
15	受け皿を検討する前に過去の経営陣の経営責任を明確にしてほしい。 外資系の企業や東京三菱銀行との統合は避けてほしい。 足利銀行は、地元企業を育成と栃木県の経済の発展のためにも絶対に地元の銀行として残って欲しい。具体的には栃木銀行との統合が望ましい。	受け皿については県は積極的に関与し、足銀が地元の銀行として残るように努力してほしい。 県は出資も含め全力で支援してほしい。
16	県民銀行という新しい形にしてみてもいいのではないか。	学校集金、公金すべて足銀、県が10億くらい出資し徹底的に経営に参加すべき
17	近隣県の地方銀行(常陽、群馬、千葉、東邦)などが望ましい。 受け皿銀行としても、地域が重複しないので、二重投資(栃木銀行はこれに該当するから対象除外)にならずメリットがある。 外資系や都銀では、地域企業も地域に密着した取引が難しい。 地元に着けた企業活動をする銀行にすべき。 儲かったら転売をするような金融機関は絶対受け皿にすべきでない。	受け皿への出資まで県は関与しないほうが良い。 それは県の本来の業務でない「餅屋は餅屋に任せるべき」 県が出資すると、政治家等の介入が入る可能性が多くなり、情実取引の原因になる。 関与するにしても、制度融資とか、間接的な融資を行なうとともに、行政上で関与する位がベター
18	県内の経済状況を知り、地元企業と取引がある金融機関への営業譲渡・株式譲渡が望ましい。合併の場合、北関東に本店がある地銀 いずれの場合に置いても、地域経済・地域住民生活に悪影響を与えないように 支店によっては、県内の金融機関に譲渡 重複エリアの場合は、支店の統廃合 県民銀行等を新設し足銀の業務を引き継ぐ場合も支店の一部譲渡・統廃合は必要	
19		県の経済を考えての関与という理由が議論されているが、前に一度支援しているのであり、一民間企業をこれ以上公的支援すべきでない。 足銀からの借入企業の経営に影響が大との心配から同行の救済が必要との議論があるが、経営者は利益も損失も社会的責任も我が身で受けるべき 県民銀行化は、県が民間企業と競合することになり不公平 「民間企業は民間に任せる」この基本姿勢を堅持してもらいたい。
20	地域にのみ通用するだけの銀行という考えは捨てるべき。 足利銀行、栃木銀行の両方と取引をしている企業も多いことから、栃木銀行一行への譲渡は賛成できない。 県民の財布代わりになる銀行と考えるなら、新生銀行が妥当 入金、出金に関してはコンビニATMの利用でサービス基盤は出来ている。 融資に関する部分は新生銀行の成り立ちから考えて、抜本的な解決策が期待できる。	受け皿への出資には賛成できる。 しかし、ムダを省く考えができる調整役が必要。内にこもった施策を行わず、必ず外部の識者を入れること

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
21	<p>外資だと短期に売却するため早期の収益拡大に走る。産業再生機構行きを免れた取引先も強制回収される恐れがある。その結果、再び県内中小企業が窮地に追い込まれる状況も予想される。</p> <p>地域金融のソフトランディングと取引の継続性を確保するため、栃木銀行に吸収若しくは対等合併で店舗・勘定を引き継いでもらうのが最善の策</p> <p>栃銀は、足銀の県外店舗・勘定を売却・譲渡し、県内の店舗・勘定のみを引き継ぐ。</p>	<p>栃銀は県の指定金融機関となり、県内経済発展のため、県内に専念することを前提に、足銀引き受けにかかる資金的負担、リストラ費用等を県が出資により一部応援する。足銀がバブル期に県外で多額の不良債権を作った事に県民は怒っている。真の「県民銀行」になるとしても再度県の資金を投じることに県民は抵抗を感じる。一定の規模を維持した安定した金融機関を作る方が国の支援も得られやすい。一定の地域シェアを持つ収益基盤の堅固な金融機関を作る方が地域経済にも重要</p> <p>県は出資者として銀行の経営行動を監視</p>
22	<p>都市銀行でも地方銀行でも外資系銀行でも構わない。</p>	<p>出資は反対</p> <p>私企業に公金を使うのはおかしい。潰れる所は早く潰して淘汰したほうが再生が早い。</p>
23	<p>既存の金融機関</p>	<p>民間企業の問題であり、県の関与及び出資は、納税者として反対。</p> <p>県の出資では、県の幹部職員、県議、代議士等の不当介入を妨げることはできず、今の足利銀行以上にひどい経営内容の銀行になることは明白である。</p>
24	<p>受け皿は、預金保険法で3つの手法が定められており、それぞれにいくつかのシナリオが考えられるが、①県が出資して受け皿銀行を設立し、その後県及び民間等の資金で増資を行うか、②栃木銀行にするかに限定される。②が最も現実的であり、栃木県にメリットがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木銀行は、地元の意向が反映されやすく、現在でも実質的「県民銀行」である。</li> <li>・栃木銀行は、地元経済や中小企業の諸事情等に精通しており、足利銀行と共通の債務者も多いことから、多少灰色の債務者であってもその再生を進めることが出来る。</li> <li>・北洋銀行が拓銀を引き受けた先例がある。栃木銀行は北洋銀行の全面的協力を得て、中小企業や地域経済に配慮した引受けを行うことが出来る。</li> <li>・栃木銀行は公的資金を基に足利銀行から引受けた地元中小企業への債権放棄を行いやすくなり、再生される企業が増える。</li> <li>・栃木銀行であれば、県内の各方面から有形・無形の支援や協力を得ることが出来る。</li> </ul> <p>なお、譲渡方法の選択は、栃木銀行の意向を尊重して選択されるべき</p> <p>受け皿に関する議論は、まず「望ましい受け皿はどこか」を優先的に議論し、引継ぎの方法は受け皿となる栃木銀行と協議して決定していくべきである。足利銀行は破綻したのであり、「破綻先を引き継いでくれるのはどこが良いのか」を議論すべきではないか。</p>	<p>銀行の自己資本比率向上に寄与する出資としては、株式、優先株式及び劣後ローンがあるが、毀損リスクが一番小さいのは「劣後ローン」、県から栃木銀行への出資方法は「劣後ローン」にすべき。足利銀行破綻の際にも、国から注入された劣後ローンだけは全額保護された。</p> <p>出資額は、栃木県の財政状態も考え、最小限で最大限の効果が得られるようにすべき</p> <p>受け皿が栃木銀行であれば、応分の出資で十分効果が期待できる。</p> <p>県の関与が「地元の意向を反映」に主眼を置くのであれば、出資でなく「人的な関与」でも対応可能である。例えば、県職員あるいは県委嘱された外部専門家などを、社外取締役等として栃木銀行に派遣することも可能ではないか。</p>

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
	<p>栃木銀行が受け皿になることに問題があるとすれば、県内で圧倒的なシェアを持つ銀行ができるということ。しかし、今回の問題については、問題点がないパターンなどは存在しない。重要なのは、相対的にどこが優れているのか、問題点は受皿銀行や栃木県、中小企業等にとって致命的なことか、栃木県にとってトータルでプラスマイナスか、これらを検討することである。</p> <p>栃木銀行を受け皿とした場合、独禁法に抵触する懸念がある。しかし、両行の営業エリア踏まえ北関東経済圏でシェアを考えるべき。「道州制」の考え方に立てば、関東地区(1都7県)でのシェアを考えてもよい。他県にも非常に高い県内シェアを誇る金融機関は存在するし、地域金融機関が1行しかない県もある。それで問題が生じたことはない。</p> <p>今後の金融行政を見据えた場合、地域金融機関の再編が急速に進むことは確実。県内に強力な銀行が誕生することは、県内の金融システムの安定と利用者の利便性確保という観点からむしろ歓迎すべきこと。</p> <p>地域経済の発展には、中核となる地域金融機関が絶対に不可欠であり、本県経済の発展にも、県民が安心して多様な金融サービスを利用していくためにも、しっかりした地域金融機関が誕生することは望ましい。</p>	
25	<p>ペイオフを間近に控えて、県民が安心して預金できるようにすることが最も大切、次のいずれかを早急を実施すべき</p> <p>第1は、東京三菱銀行。東京三菱銀行は足利銀行との関係が深かった上に日本一健全な銀行であるから</p> <p>第2は、横浜銀行。足利銀行頭取が横浜銀行出身であり、横浜銀行は、健全な銀行で立派な業績を収めているから</p> <p>第3は、栃木銀行。足利銀行職員及び関係者は、謙虚な気持ちで、実現のために努力すべき。そして、栃木銀行を栃木県を代表する銀行に育てていく必要がある。</p>	
26		<p>腐った中小企業のために税金をつぎ込むのはやめて欲しい。中小企業の社長は税金滞納していてもスナックへ行く金はある。私たちの血税はムダにしないでください。 県の関与(出資)には絶対反対</p>
27	<p>足利銀行は、1都5県に営業拠点を有し、個人取引先200万弱、法人取引先は、10万弱の営業基盤をもつ。県外の取引先も多く有する。融資残高は、3兆3千億円程度だが、国債、県債等公共債の引き受けや、地方公共団体への融資額も多額。</p> <p>足利銀行の緊急課題は、不良債権の圧縮であるが、そのためには、同行が、持てる経営資源を駆使し、取引先企業等の債務者区分の改善(企業再生)させることが早急に求められる。</p> <p>足利銀行の分割譲渡は、その機能を著しく劣化させるから好ましくない。</p>	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
	<p>株式譲渡が、経済合理性・地域社会への影響を最小限に止めることができ、地域への再投資も可能とする。</p> <p>足利銀行の計画では、平成19年3月期に不良債権比率が6%台となる。また、実質業務純益、当期利益共に高水準に達し、企業価値が著しく向上する。この段階で株式の譲渡を行う。譲渡先は、投資会社、事業会社、金融機関、企業グループ、持株会社等が考えられる。譲渡先は再上場も可能となり、投資先も多岐に及ぶものと思慮する。</p> <p>この段階で、県は、望ましい引き受け先について金融庁とも十分に議論すべきであり、出資はその時点で検討すべき</p>	
28	<p>1. 現状認識</p> <p>一. 貸し渋り対策や公的金融により、通常の中小企業は資金繰りに支障ない。</p> <p>二. 金融機関は返済能力のある企業に対しては、競ってでも貸出を行なっている。</p> <p>三. 足銀の破綻の原因は返済能力のない一部業種・企業に極端な多額の融資を行なったのが主因</p> <p>四. 一部の偏った融資先の問題を全体の問題とするのは事実誤認</p> <p>以上のことから現状は緊急事態とは言えない。</p> <p>2. 混迷の要因</p> <p>返済能力のある企業の資金調達は円滑に行なわれており、県民銀行構想は、返済能力のない企業に融通させるのが目的と想像がつく。返済能力のない企業に融資をすれば足銀の二の舞であり、市場原理を無視した公金を詐取する。</p> <p>3. 望ましい受け皿は</p> <p>一. 受け皿は必要であるが、緊急性は乏しいので時期は急ぐ必要がない。</p> <p>二. 銀行業務をコビジネスとしてやってくれる先が理想であるが、あくまで希望を出すだけ。(県が受け皿を特定することは法的に困難であり必要もない)</p>	<p>絶対的に出資はダメである。(県は関与すべきでない)</p> <p>銀行への公的関与は、政治的関与を生み(口利きなどにより)不良債権を発生させる。</p>
29	<p>「北関東を営業基盤とする栃木、群馬、常陽三行を子会社とする「持ち株会社」の創設(外資を許すことなく、地域の取引先を理解し、安心感を保持)</p> <p>理由</p> <p>1 三県とも、産業、経済構造等に類似性多い。</p> <p>2 北関東高速道路の開通時には、経済の一体性が高まる。</p> <p>3 道州制が導入されれば、「北関東銀行」となることが十分考えられる。</p> <p>その為には、次が必要</p> <p>1 栃木銀行は他行に比して、業容、規模、体力等が劣るので、県及び市町村は資本増強等に積極的に参画、協力する。</p> <p>2 栃木銀行の現状に配慮して、(足利銀行)支店を近隣県の地銀に再配分を行う。</p>	<p>栃木銀行に対し、県民銀行的役割役割を担わせるべく、県及び市町村は資本増強等に積極的に参画、協力</p>
30	<p>都市銀行は町の中心にあり駐車場も狭く、車社会、高齢化社会を考えると一般市民を相手にしている銀行とは思えない。</p> <p>地域に根を張り、合理化を目指せる受け皿として、「栃木銀行」が良い。これによって支店が半数近く整理でき、蓄えた力で先行投資が可能となる。</p>	<p>営利の銀行に行政の口出しは最小限にすべきと思うが、栃木県の将来のために良かれと思われる事は出資を含めて考える必要がある。</p>

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
31	<p>受け皿には、中核的金融機関としての役割を期待する。受け皿銀行を、足利銀行の二の舞にしてはいけない。「県経済の活性化のため」という美名の下に、不良貸付が増大してはならない。</p> <p>受け皿銀行に望むのは、次の条件。利益優先の外資系は問題がある。</p> <p>第一に地域の顧客第一主義の理念と実践できる体制</p> <p>第二に、そのビジョンを、県民と行員に示すことリーダーの存在</p> <p>第三が、情報公開と法令遵守</p>	<p>県の財政状況を考慮するなら、慎重であるべき</p> <p>出資する場合は、出資の必要性とそれに伴うリスクをきちんと県民に説明すべき</p>
32	<p>国内の大手銀行(例えば東京三菱銀行など)を中核として持株会社を設立し北関東の第一地銀、足銀を含めた数行を傘下に置く。</p> <p>(2) 足利銀行の現頭取は横浜銀行出身ですから同行を中核とした持株会社を設立し北関東地区の第一地銀、足銀を含めた数行を傘下に置く。</p>	
33	<p>現足利銀行のネットワークと高度な金融機能を栃木県民のために最大限に活用することが重要なポイントであり、現在の組織体のまま株式譲渡するのが最も望ましい。</p> <p>出資者は、「地域経済の発展に寄与する」という経営を継続してくれるところ</p> <p>出資者の国籍は問題にはならない。経営の安定性を考えれば、偏りのない複数であることが望ましい。</p> <p>地元銀行同士での合併となると、適切な競争が失われ、営業拠点等の統廃合も進められ、県民の利便性が損なわれる。経営が軌道に乗るまでも多大な期間を要し、地域経済にとってはデメリットの方が大きい。</p>	<p>行政の地域経済への関与は、地域経済の包括的な発展に寄与する部分に留めるべき</p> <p>出資により個別金融機関への影響が強くなることは、銀行の融資先特定企業の経営に行政が関与することに他ならず、公正な市場競争原理を損なうことにつながる。</p> <p>行政の過大な出資は金融機関の公正な経営の妨げになる。</p> <p>目指すべきは、足腰の強い競争力のある地域経済。</p> <p>特定企業の支援は、公正な発展を妨げるものであり、自己責任で経営努力を続けている民間企業者にとっては、むしろ脅威となる心配がある。</p> <p>従って、県の受け皿への出資は、行うべきではないと考える。</p>
34	<p>足銀が地域金融機関として復活・存続して、県民のために引き続き活躍できるよう、東京三菱銀行が受け皿金融機関となり、支援と協力する。</p> <p>足銀は地域経済や県民生活と強いつながりを持っていることや強固な顧客基盤を有していることを東京三菱銀行は理解してくれる。</p> <p>足銀と三菱の関係は深く、公的資金の注入まで三菱が筆頭株主、足銀は火曜会の有力メンバーだった。足銀の勘定システムは三菱と同じIBM、ソフトも三菱のパッケージソフトをカスタマイズしたもの。三菱の弱点リテールの一部を足銀がカバーできる。三菱傘下なら足銀職員のモラルがアップし、大方の県民も理解してくれる。</p> <p>県民銀行には、多額のコストと多くの時間が必要。資本調達の可能性、責任ある経営体制、許認可取得の可能性など不透明であり、反対する。……(関係部分抜粋、要約)</p>	<p>県は積極的に関与すべきでない。足銀の再生問題の処置は、許認可権限を持つ金融庁が信用秩序の維持と地域経済の健全な発展を念頭におきながら行うもの。県や一部の政治勢力が政府・金融庁などに働きかけていくことは足銀や県民にとって迷惑</p>
35	<p>経営者が、株主や一般顧客の利益を度外視して、先輩経営者の関係団体へ甘い審査で巨額融資を行なったのが足銀破綻の始まり。</p> <p>経営者(受け皿)は、出資者の意見が反映出来るような団体が望ましい。</p> <p>税金等営利目的以外で集められた資金を基金とした団体は望ましくない。</p>	<p>県は、受け皿として候補に挙げた団体が(1)の受け皿として望ましい団体かを 厳格に審査し、それを公表すること。</p> <p>受け皿への出資には(1)で述べた理由により反対</p>

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
36	<p>一時国有化終了の形は、「株式譲渡」が最善                      足利銀行は、経営計画を発表し、新しいビジネスモデルを導入して、地域金融と銀行の再生に向けて、少しずつだが着実に成果が顕れている。ビジネスモデルとは、店舗の数、店のレイアウト、商品・サービスの品揃えでなく、企業文化や組織風土＝社員の気質そのもの                      「合併」や「営業譲渡」では、足利銀行のモデルが活かせず、県民に損失                      「株式譲渡」の受け皿は、新生足利銀行の地域再生モデルを尊重し、継続して維持・発展させようという考えの出資者</p>	<p>県は地域金融機能の維持という観点から、望ましい受け皿について積極的に関与していくべき                      しかし、税金など公共性の高い資金を、一金融機関に出資することには反対                      自由公正な競争の阻害要因になる懸念もある。                      県民銀行創設は、「出資の目的や効果」に合理性が求められるか疑問                      出資をしなくとも、県と地域金融機関が地域金融円滑化のために連携・協力できる分野はまだまだ沢山ある。</p>
37	<p>足銀を全くの外資や第三者に手渡しては栃木県経済にとって大きなマイナス                      想定される受け皿は、                      ①既存銀行への一括営業譲渡                      1. 地元銀行(栃銀)→競争原理、合併のシェアの問題で有り得ない。                      2. 近隣地銀(常陽、群馬等)                      3. 大手メガバンク(東京三菱、りそな等)                      ②外資、国内外ファンド、異業種がスポンサー                      ③新たに地元新銀行設立                      足銀の営業権の価値を地元で再構築し、利益も最大限に還元するためには③                      ・・・・(関係部分要約)</p>	<p>リスクアセットを2兆円として、                      ①県が呼び水として10億円を出資                      ②賛同するメガバンク、生保、証券会社、地元企業、個人が300億円出資(キャピタルゲインのメリット)                      ③二次的資本金1,700億円(優先株、劣後債等)を外資、投資会社等から集め自己資本比率10%をクリアー                      最大のポイントは、AFG優先株を新銀行株式と株式交換(AFGの減資は不可避)                      本格化する不良債権処理に伴う痛み(雇用問題)を和らげるには、経済的恩恵(過剰債務の解消と新銀行の再上場によるキャピタルゲインによって)を享受できるようにすること                      ・・・・(関係部分要約)</p>

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
38	<p>受け皿行(新銀行)を栃木銀行又は他行との合併・統合することに反対(投資会社、企業グループ、持ち株会社等に譲渡することも反対) 理由(栃木銀行想定)</p> <p>① 県内の預金・貸出金シェアが70%を超え、他の都・地銀・信金・信組に影響を与え、経営基盤を大きく揺るがす。 ② 店舗の閉鎖縮減がなされ、取引先の利便性が失われる。従業員のリストラにも拍車がかかり社会不安につながる。 ③ 両行の店舗は中心市街地に所在するため、店舗の閉鎖や削減は中心市街地の空洞化を促進する。 ④ ペイオフに伴う名寄せを再度実施することになるとともに、預金者は預金先を選べなくなる。 ⑤ 貸出債権は、受け皿行である栃木銀行が再査定するので貸出先の不安と困惑が長引く。 ⑥ 栃木銀行が再査定するため、足利銀行や預金保険機構が査定した結果での一括譲渡は困難になる。 ⑦ 両行は取引状況や貸出条件が異なる上、債務者区分も違うので、受け皿行と取引先の両方が混乱する。 ⑧ コンピューターシステムや事務取扱規程等の見直し・再構築が必要となり、営業譲渡までが長期化する。国有化足利銀行は新規貸出に制約があるので、譲渡が長引けば資金繰りに支障をきたす中小企業が出現し、金融・経済に悪影響を及ぼす。 ⑨ 両行は切磋琢磨してきた。統合・合併は、取引先・行員・他地域金融機関・県・市町村にデメリットしかない。 従って、再度、県民の理解を頂き、「新銀行 足利(仮称)」を設立し、一括営業譲渡すべき</p>	<p>足利銀行は、県及び全市町村の指定金融機関であり、県内最大の金融機関である。受け皿となる「新銀行足利(仮称)」が県内金融・経済の中心的な存在となり、大きな影響力を持つことは明らか。県民もそれを期待している。 指定金融機関も「新銀行足利(仮称)」に引き継がれるので、県は、主導的な立場で受け皿行決定まで関与すべき</p> <p>② 受け皿への出資について 「新銀行足利(仮称)」は、「再生された健全な地方銀行」として、県内金融・経済の中心的な存在となり大きな影響力を復活させる。 指定金融機関として相応しい受け皿新銀行を設立誕生させるためには、大株主にはならないまでも一株主となり、株主として経営状況のチェックと内容の把握をすべきであり、今回も応分の出資をすべき……(関係部分要約)</p>
39	受け皿が、外資とか、他県の金融機関になるのはおかしい！ 地元の銀行になるのが当然、そう考えると栃木銀行	
40	受け皿はへんな銀行では困る。地元の栃銀が一番いいと思う。	
41	国有化状態が続けば、足利銀行の行員にも良くない。 多額の税金を使いながらも国有化されたのだから無くなって当然 受け皿としては県内の金融機関が望ましい！	
42	栃木銀行を県、市町村が株を持った受け皿会社とする。都市銀行の攻勢が強まっており、又信用金庫も合併等で体質強化しているため銀行2行は今後無理が生じる。	県、市町村が株を持つ
43		足利銀行の受皿問題について、県としての要望は必要だが、公金の出資等は止めるべき 政治家や悪徳商人達の喰い物になったり汚職の温床となる。 行政機関は営利を目的にする業務に手を出したり、手を貸すべきでない。
44	栃木県の事情を一番わかっている栃木銀行がいい。	



## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
45		”赤字を続けた会社は、存在理由を社会から否定された”ということ 中央集権的に”政事”を行う必要は無くなって来ている分野が多く有り、金融の分野もその一つ。あまたの金融機関の中には、栃木県民に应运てくれる機関は必ず有る。国民、市民、消費者を信じ、官は仕事を拡大しないことがこれから基本 したがって、出資を含め県の関与には絶対反対
46	株式譲渡(1社で引受) 新会社に一般の投資家が自由に投資をたやすく出来る方法の窓口を作る。	
47	足利銀行の望ましい受け皿は単純に栃銀でいい	受け皿が栃銀であってもなくても、ノーマライゼーション社会の第一歩として、県の関与としては、障害者の雇用率や店舗が高齢の方でも安全なバリアフリーで必ず障害者トイレを設置してあることなどの注文をつける程度で、出資迄はなくていい
48	受け皿銀行の問題は、県内の経済・職員雇用問題等に各方面に大きく影響する。	県は足利銀行に県民の税金を注込もうとしている。
49	今の状況から見ると、栃木銀行が受け皿として第一の候補だと思う	国は地銀に厳しいとおもうような決定をするが、県には最大限の出資、協力をして欲し
50	足利銀行の受け皿としては、外国資本による新銀行移行が望ましい。 理由 今まで経営破綻した銀行の国内資本による新銀行移行は失敗している。(みどり銀行、わかしお銀行など) この際、海外資本のみごとくに再生をさせた新生銀行の例があるので、海外資本による新銀行がよいと思う	県は、助言や提案を受け皿銀行におこなうことはよいと思う。 しかし、受け皿銀行に出資することは反対 なぜ一民間企業に県が出資するのかわからない。財政状況が厳しい中で出資をおこなうより、県民のためになる事業におこなってほしい。
51	足利銀行をそのまま残してもらいたい。栃木銀行への受け皿は望まない。	
52	昔から足利銀行一本でしたので残してもらいたい。	
53	昔から見近にあり馴染みある銀行なので、このまま残して行って欲しい。	
54	長い間、本県に貢献した足利銀行を継続していただきたい。 例えば、栃銀が受けた場合県内のシェアの割合が多くなり、地場産業は融資が受けられなくなり倒産企業が相当数あると考える。	
55	足利銀行をそのまま残してもらいたい。栃木銀行への受け皿は望まない。	
56	足利銀行をそのまま残してもらいたい。栃木銀行への受け皿は望まない	
57		
58	足銀を継続させて欲しい。 私の勤めている会社は足銀との取引が無くなると倒産するかもしれない。ほかの受け皿銀行では、現在のまま取引できるとはおもえない。	
59	足利銀行は一時国有化の憂き目にあるが、経営を建て直し単独経営を目指して頂きたい。	
60	「足銀」というブランドで我々は慣れ親しんできた。それが無くなると我々の生活スタイルが変わってしまう気がする。存続を希望する。	
61	我が家では銀行といたら「足銀」、今後も利用したいので単独の経営を望んでいる。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
62	足利銀行の単独経営を望む	
63	足利銀行単独での営業を希望する。給与の振込先、支払いの引き落とし先等多くの場面で利用しているので、これから先もこのまま残って欲しい。	
64	今まですべて足利銀行を利用してきた。再建も軌道に乗りつつあるのだから単独での再建が望ましい。	
65	一つの銀行による寡占状態は、望ましくない。 県及び県内各団体の支援による足利銀行の存続を希望する。	県及び県内各団体の支援による足利銀行の存続を希望
66	今後とも足利銀行は単独経営望ましい。	
67	県民銀行にし足利銀行の名前を残して頂きたい。 栃木銀行を受け皿にすることでシェア70%という寡占状態は絶対に避けて頂きたい。	県を中心に投資し再生に向け今後も努力して頂きたい。
68	足利銀行と栃木銀行が独立してあった方が中小企業にとって望ましいと思う	
69	足利銀行がなくなったら困る。栃木銀行は望ましくない！	
70	足利銀行をそのまま残してもらいたい。 長い付き合いなので、栃木銀行への受け皿は望まない。	
71	足利銀行さんとは長い付き合いで足銀さん以外の受け皿では非常に対応が悪い＝そもそも一時国有化は国の間違いである。足銀さんを無くさないでほしい。	
72	長い間、本県に貢献した足利銀行を継続していただきたい。 例えば、栃銀が受けた場合県内のシェアの割合が多くなり、地場産業は融資が受けられなくなり倒産企業が相当数あると考える。	
73	①足利銀行を、そのまま残してほしい。 ②今までずっと、利用してたので変えたくない。 ③栃木銀行はメジャーじゃないので望ましくない。	
74	受け皿は無しで足利銀行を県民で助け、残してほしい。	
75	県内最大の銀行なので、このままで営業譲渡が良い。	
76	足銀の受け皿は、地元の栃銀でよい。 栃木県にとって、受け皿は栃木県のことを良く知っていることが、一番重要 こんな単純なことを、なぜいまさら専門家が集まって議論するのか良くわからない。さっさと決めて、栃銀にがんばってもらえばよい。	
77	地元銀行の栃木銀行が受け皿になるべき ・地域の実状ををよく知っているから ・栃木県に本店を置いている銀行だから安心	
78	足利銀行単独での存続を希望 理由は多数あるが、何より栃木県のイメージに強く影響が出ると考えるから イメージは、物事においてある意味、はじめの一歩であり、負のイメージがこれから先数ヶ月に渡り、栃木県のイメージとして社会から見られることは、絶対に避けるべき	
79	持ち株会社三菱FGの傘下に地銀として編入 県民銀行の設立で強く県に係わるのは賛成できない。 県内銀行との合併等でシェア50%以上の銀行を作るべきでない。	県民銀行の設立で強く県に係わるのは賛成できない。

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
80	私どもの会社は、足利銀行に何度も苦しい時に助けてもらった。 足利銀行の行員もかなり辛い思いをして銀行を守ろうと努力している。 このまま足利銀行の名前で残ることを望む	
81	足利銀行独自で存続してほしい。 栃木銀行が有力との声を聞くが、そうなると、栃木県は栃木銀行の独占状態となり栃木県の経済にとっても望ましくない。足利銀行という名が残る形で進むことを切に願う。	
82	株式譲渡方式(1社引受け:栃木銀行以外) 栃木県的には、現在、足利銀行、栃木銀行の2行が地元金融機関として存在。安定した且つ円滑な金融状況である。栃木銀行1行になれば巨大な地方銀行となり県民に対する広義のサービス低下となりえず是非足利銀行を現状に於いての営業のできる様、株式譲渡での方式を採用願いたい。	
83	足利銀行は栃木県を代表する地元の銀行であり、以前から個人的にも利用している。銀行である為、是非今まで通りの地元の銀行として営業をお願いする。	
84	県内には地域の金融経済を一番熟知している栃木銀行がある。 地域の利益を守る為にも、地域の実状を良く知っている栃木銀行が良い。 栃木銀行が受皿になれば、栃木県が主たる営業区域であることから、足利銀行の従業員も今迄通りの生活が出来、優秀な人材が県外に流失することはない。 足利銀行は、現在、企業の選別中とのことであるが、今後10年、20年と安心して任せられるのは、地元の栃木銀行しかない。	
85	足利銀行は現状のままで継続してください。 ・栃銀との合併は県内シェア70%を超えてしまうので好ましくない。 ・他銀行への切り売り分散は絶対に良くない。 ・行員がやる気を無くしてしまう。 ・現状のままで全行員が結束して現足銀の更なる向上を計ってほしい。 ・県民のための銀行であり全県民の応援を切に願うものである。	・県の協力は必要
86	足利銀行は現状のままで更なる努力をしてほしい。足銀＝私達の銀行です。 * 栃銀の合併は反対、銀行の体質が違うから * 現状のままでないと県民の動揺は予想も出来ない程であろうから * 強い足銀として行員1人1人が力を合わせて立ち直ってもらうことを期待している。 * 現状のままで全行員が結束して現足銀の更なる向上を計ってほしい。	* 県の協力はあるべき 栃木県のことを県がしなくて誰がするのですか？ 他人事ではないのです(声を大にして！) * 微力ですが応援します。
87	足利銀行様とは取引は長く致していますので、今まで通りの営業を願う。	
88	栃木県の企業発展に足利銀行はなくてはならない銀行であった。 これからも足利銀行をこのまま残してもらいたい	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
89	<p>足利銀行の株式で、高級乗用車1台分の損失を受けた一人 しかし、行員が大幅な給与ダウンにもかかわらず、必死に再建をめざしてがんばっている姿を見て同情を禁じ得ない。 昨今の情報では、栃木銀行を受皿にという声が強いか。これは絶対反対 そうなると県内のシェア7割にも達する程の寡占化が進み、中小零細企業は相手にされなくなる恐れがある。 足利銀行を外資系や寡占化となる企業、組織に譲渡することはやめていただきたい。 無理とは思いますが足銀の名前、体制が残せることを希望します。</p>	
90	<p>1. 県内銀行による併合</p>	<p>2. 県の出資は好ましくない 理由 1. 県債が1兆円もあり、これ等の返済が先 2. 主資金が戻るとは保障されておらず、過去足銀に出資した優先株等の例もある。 又経営の良否によっては増資の問題も出てくる。 3. 銀行だからと云って一企業に県が出資することは無理。従って関与すべきでない。 4. 貴重な県税は一般県民の福祉等に使われるべきである。</p>

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
91	<p>足利銀行の受け皿への望ましい引き継がれ方は、県民の利益保護の視点に立つと、足利銀行の店舗網・組織・行員が一体として受け皿に引き継がれ、長期に存続し発展する見込であることが基本である。</p> <p>そうでないと、店舗の減少や競争の阻害が起こり県民が不利益を受ける。</p> <p>分割は地銀の解体消滅であり最悪である。</p> <p>栃木銀行は店舗・営業基盤が重複しており、合併となると店舗の統廃合により行員の大部分が不要となる。群馬銀行も県南地域で同様のことが起こる。従って、栃木銀行・群馬ぎんこうへの吸収合併も最悪</p> <p>例え一時的に一体として受け皿に引き継がれても短期的に転売されたり、実質的に解体される場合は不可</p> <p>最も望ましいのは、</p> <p>①県内事業者等の発起設立銀行(県内事業者発起、県等とともに出資、親密都銀・生保等が出資)、②準県民銀行(大部分民間資本だが、県等も大株主として出資)、③県民銀行(県市町村が最大株主、融資等への政治介入の排除が課題)</p> <p>次に望ましいのは、</p> <p>①大手都市銀行の傘下(県等も大株主となる。)、②国内大手民間資本傘下(県等も大株主となる。)</p> <p>余り望ましくないのは、</p> <p>①外国資本、②県外地方銀行との合併</p> <p>受け皿資本の任意に委ねるだけでは県民の利益は守れない。県民の利益を守る為、出資を明確に意思表示し、金融庁・受け皿候補に強力な働きかけをすべき</p> <p>県は、県内有力者とともに、最も望ましい受け皿作りに至急動くべき</p> <p>県は、今後、受け皿との間で、県民の利益保護・行員の雇用保護のための協定を締結すべき</p>	
92	<p>栃木県経済の先行き不透明感を払拭するためには、足利銀行の受け皿を早急に決めることが大切。企業が足利銀行の切り分けに戦々恐々としている状態が長く続けば、設備投資などの前向きな動きは起こらず、結果として栃木県経済に良い影響は与えない。</p> <p>受け皿銀行は、栃木県に本店を置き、地元企業の支援、地元の利益、雇用などに配慮できる銀行でなければならない。</p> <p>以上を勘案すると、受け皿銀行は、「栃木銀行」が最も適切な金融機関である。</p>	
93	<p>受け皿金融機関は、地元をよく知っている「栃木銀行」が良い。</p> <p>県が「県民銀行」を作ることは、足銀に出資した株式が無価値になったことから、同じ結果になる可能性もあり反対ですし、県民の総意を得ることは難しいと思われま</p> <p>その点、栃木銀行が受け皿になれば、民間の責任で銀行を経営していくことになり、自由主義経済の原則に沿ったものとなります。また、地元で配慮した経営を行うことから、県民の総意を得ることが容易であると思われま</p>	<p>県が「県民銀行」を作ることは、足銀に出資した株式が無価値になったことから、同じ結果になる可能性もあり反対ですし、県民の総意を得ることは難しいと思われま</p>

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
94	<p>足利銀行の受け皿銀行について 都市銀行や他県に本店のある銀行では今後極めて不安 栃木県内に本店があり、業績も立派な栃木銀行が受け皿銀行がなることが最も相応しく、最善と考えます。</p>	
95	<p>①大手銀行が望ましい。地銀では第二の足銀になりかねない。</p>	<p>②出資は必要ない。一企業として、より独立性を保ってほしい</p>
96	<p>栃木県には、栃木銀行という銀行があるのだから、栃木銀行さんにかんばってもらえばいい 受け皿は、栃木銀行で結構だと思います。</p>	
97	<p>まず考えなければならないことは、自由主義社会の原則から外れてはならないということ 破綻企業の責任があるということ、経営に失敗した企業は解体されるのが原則 仮に足利銀行が支店も役員(大部分が元行員)も行員も温存されて残るようなことがあれば、銀行だけ特別扱いされることになってしまう。 地元の栃木銀行に吸収されるのがいいと思う。</p>	
98	<p>足利銀行の一時国有化及び受け皿銀行の問題は、県内企業経済、しいては個人の生活を含む大きな問題の一つであると思います。 足利銀行と、栃木銀行とは、企業、個人とも取引先を共有している事が多いと思われま す、その意味でも馴染みのある栃木銀行が最良と考えます。 今後、足利銀行の不良債権切り離しが進み、県内経済が落ち込むことが考えられます が、県内に本店を置く栃木銀行であれば「取引先と共に歩む」と明言しており期待した い。 県外の銀行となれば、単に利益追求のみに走り県内企業育成に背をむける事が考え られる。 足利銀行の受け皿に栃木銀行がなれば、足利銀行の職員雇用の問題、店舗の利便 性等からしても、ベストの選択肢かと考えます。</p>	
99	<p>栃木県には、栃木銀行他、地域に関わる信用金庫があるわけですから、それらを地元 の利益を守るため、足利銀行の受け皿銀行としてはどうか。地域の金融情勢、動向、環 境等の面に於いて熟知している銀行がふさわしいと思います。 企業、個人ともに足利銀行と、栃木銀行の両銀行と取引をしている先が多いと思いま す、その意味では、栃木銀行が受皿銀行となる事が栃木県の為であり足利銀行の取引 企業や、従業員を保護する良い方法だと考えます。 一時的な利益を確保するための目的で引き受けするような外国資本による、受皿 銀行には、絶対反対します。</p>	
100	<p>1. 従来通りの足銀がよい。</p>	<p>2. 出資その他の関与は必要ない。 純粹民間企業で進むべきだ。</p>

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
101	<p>多数の県民が足利銀行破綻で大切なお金を紙くずにされた上に多額の税金を使って足利銀行や企業の再生をやっているようですが、企業はともかくとしても足利銀行が再生することは1県民として許すことはできません。</p> <p>ただ地元銀行がなくては困るので、栃木銀行を受け皿にして二度とつぶれない地元銀行にしてもらいたいと思います。</p>	
102	<p>1. 現在のまま続けてほしいです。(外資とかは受け皿になってほしくないです。)</p>	<p>2. 県の関与は、あったほうが良いと思います。</p>
103	<p>1. 現在のままやっていけるのならやっていたほしいし、県内に2行あれば競争になる為望ましいと思います。</p>	<p>2. 県の関与はあったほうが良いと思います。</p>
104	<p>株式譲渡方式 県に2行以上地銀がないと活性化が図れません。又従業員の雇用問題があると思う為</p>	
105	<p>営業譲渡、株式譲渡、合併等を論ずる前に、一時国有化された貴店としては再建計画にも元々多様なリストラの実行と健全経営確立のための多大な努力が元株主や県民に理解され受け入れられてこそ、地域に根付いた銀行とされ生き残れるものと思います。そうすれば「望ましい受け皿の実現」論などが先行せず、規模は縮小しても、地域に密着した企業として「足利銀行」独自で生きる道のための出来る限りの努力をして下さい。</p> <p>前記の三案に付いては一長一短が有り安易に受け入れられる事ではありませんし、これ以上、税金を一企業再建のため賛成出来ません。</p> <p>元普通株増資者としては、「下野新聞掲載の足銀はなぜ破綻したか」を見ると、ずさんな営業経営感覚の改善が多大な努力項目かと感じます。</p>	<p>これ以上、税金を一企業再建のため賛成出来ません。</p>
106	<p>栃木県民の一人として足利銀行の「足利」の二文字が消えてしまうのがゆるせない。一時国有化されたとはいえ足利銀行は自力再生ができるものと確信している。外資系企業や栃木銀行が受け皿となれば栃木県経済に未来はないであろう。</p> <p>今、全栃木県民が一岩となり足利銀行を支えてこそ栃木の未来が輝けるものとなるのである。</p> <p>りそな銀行と同様の対応を国に求めるものである。</p> <p>足利銀行と共に前進する栃木県であらねばならない。</p>	
107	<p>足利銀行に対する思いは、明治28年の創業から今日に至るまで私どもにとって共に生業が存続出来たことに大きな意義を持っております。それゆえ、実現に向け県として最大限の尽力をお願い申し上げます。</p> <p>1. 受け皿銀行に対する前提とした条件</p> <p>(1) 中小零細企業が主体の産業界だけに、これまで以上の産業振興に資する銀行であること</p> <p>(2) 地域住民(生活)に密着した銀行であること</p> <p>2.</p> <p>第1案 安定化と県内企業の営業拡大を目的に都市銀行を受け皿とする。(案:川崎銀行当時からの観点で東京三菱銀行)</p> <p>第2案 純粋な県民銀行を創設する。(案:とちぎ県民銀行、シチズンバンク)</p>	<p>3. 望ましい受け皿の実現に向けた県の関与</p> <p>(1) 上記第1案においても県の関与を願いたい。</p> <p>(2) 上記第2案 当面の策として、国・県・市町村・県民が出資し再生化を計る。</p>

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
108	県民生活の安定や県内経済の発展のため、今まで通り足利銀行での継続を強く望みます。	
109	栃木県民にとって、今後の足利銀行がどのようになっていくのが良いのかを考えると、行員はできるだけ現在の行員がそのまま残るような形が望ましいと思う。他の銀行に吸収されたり、栃木県の状況を全然わかっていない外資系の銀行に買われてしまい、人情味のない経営をされたらたまらない。	
110	足利銀行の受け皿については、これまでいくどとなく「地元の銀行がよい」といわれております。これは、栃木銀行のことですね。誰しも、栃木銀行が受け皿になることに抵抗はないと思います。地元のことは地元で対応することが、本当に地元のためになると思います。	
111	長い間、本県に貢献した足利銀行を継続していただきたい。例えば、栃銀が受けた場合県内のシュアの割合が多くなり、地場産業は融資が受けられなくなり倒産企業が相当数あると考えます。	
112	栃木県においては、一つの銀行が寡占状態になるのは、望まない。県と県内各団体が支援し足利銀行の存続をお願いします。	
113	足利銀行の受け皿銀行は、地元の栃木銀行が良いと思います。地元の中小企業の再生・支援等を考慮した場合、地域に密着し地元企業からの支持を受けている銀行にすべきだと思います。	
114	受皿となる金融機関は、地元の栃木銀行が良いと思います。栃木県の経済状況等を理解していない銀行が受皿となると、今後ますます経済が混乱することが予想されます。	
115	①同業だけでなく、あらゆる企業から受け皿を募る ②その為には、国・県単位で企業が受け入れやすい体制をつくるべき	出資も方法の1つとして可
116		県が出資して県民銀行を是非実現すること節に望みます！
117	県内の経済状況を考えて今は県民重視の解決が必要。他の金融機関や外資系が受け皿になっては、対応が県民軽視になり、県内経済がさらに厳しい状況になる恐れがあり、これは絶対に避けるべきであると考えます。	
118	足銀の増資には県内の多くの企業や県民が協力してきた。これは足銀が地元にとって必要だということだと同時に、これからも足銀とともに歩いていくべきだという強い認識が私たちにいるからではないだろうか。足銀はあくまでも「足利銀行」として存在することが、必要不可欠であると思う。	
119	(1)外資除く国内の大手銀行が望ましい	(2)県は、調整役に徹してもらいたい。 受け皿への出資は反対である。県民の税金の支出であり一企業の救済に当てるべきではない。 (3)意見:県内の経済特に日光・鬼怒川の観光地の低迷等の立ち直りには、資本・経
120	今まで増資の協力をしており、今後も地元で古いつきあいの足利銀行として存続してほしいと考えます。	
121	足利銀行の存続を望む。受け皿として栃木銀行は頼りない。	



「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
122	栃木県内で企業や県民との多くの取引のシェアを考えると、現在取引している企業の苦しい状況、今後どうなるかを知り尽している足利銀行は栃木県において大変必要な銀行であると思います。	
123	足利銀行をそのまま残してもらいたい。栃木銀行への受け皿は望まない。	
124	(1)足銀再建は自立再建が望ましい。	(2)自立再建であれば、県は関与するべき。
125	自主再建が望ましい！	
126	弊行の破綻および国有化から1年が経過いたしました。今日までご預金いただいているお客様ならびに県はじめ関係者のお力添えのお陰様で大きな混乱がなく営業させていただいております。弊行の受け皿問題を考える場合、スキームは多様な方法があるにせよ、先ず大切にしたいのは、何より破綻直前まで株式を保有いただいた株主の気持ちだろうと思います。個人的には本当の解決は、弊行が受け皿機関に譲渡される時ではなく、以前の株主のためにも再度の上場を目指し、もう一度弊行の株を購入いただくことが恩返しだろうと考えております。最近、マスコミ等で拝見する地元銀行との合併を受け皿にする案については疑問を持たざるを得ません。合併により両行の支店ならびに従業員の多くは不要になるとともに、県内貸出シェアのほとんどを占めることから、健全な借入をしたいという利用者が不利な条件での資金調達を強いられることが想定されます。県内経済の活性化のためにも健全な競争は必要であり、両行合併のメリットは既にありません。日本を代表するバンカーを頭取に戴きました。大切なのは職員が一致して二度と破綻しない地域金融のバックストップをつくることだと思います。先ずはお客様にご不便かけないよう同僚とともに頑張ります。新知事はじめご心配をおかけいたしますが、何卒引き続きの応援をお願い申し上げる次第です。	
127	(1)営業譲渡 足利銀行は、多大な問題を抱え事実上債務超過となった。やはり一連のけじめをつけるためには、営業から手を引くべきと考える。しかし一方で、栃木県の経済を抱えてきた銀行がなくなってしまっただけでは問題がある。よって、営業権を譲渡し、受け皿銀行が足利銀行に変わって栃木県を代表する金融機関となるべきである。その受け皿銀行が、過去の問題点を正し、新しい栃木県の銀行として経済の活性化のために、尽力するべきと思う。受け皿銀行としては、やはり、地場銀行としての栃木銀行が最適と思われる。	(2)県の関与 地方公共団体として県は関与するべきではない。受け皿銀行の実現に向けて、県が積極的に関与しなければならないと思うが、その中心は民間であり、まして県費からの出資などはあってはならないと思う。
128	栃木の銀行が独占になってしまうため足銀はこのまま独自の銀行で行ったほうが良いと思います。県の関与についてはぜひ県の発展のためにも出資するべきだと思います。	県の関与についてはぜひ県の発展のためにも出資するべきだと思います。
129	足利銀行は銀行のなかで最も馴染みのある銀行です、又栃木県と言えば足利銀行、この名前は無くさないで欲しいと思います。	足利銀行に県として力を貸して欲しいものです。
130	(1)栃木県内の多くの企業や県民が足利銀行を利用しているので、今が苦しい各企業の状況を把握している足利銀行の存在が必要不可欠だと思います。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
131	栃木県内企業の現在の経済状況を考えると、足利銀行が今までの状態に戻ることを望みます。 なぜなら、私達県民にとって足利銀行は絶対に必要不可欠なため、増資についても企業や県民が協力したのだと考えております。私の意見としては、他の金融機関や外資系銀行による受け皿についてはどうしても賛同できません。	
132	足銀の問題については、足銀が単体で存続していくような体制を築くことを希望します。理由としては、地元の中小企業を沢山支えている足銀が他の金融機関に吸収されるとかで、弱体な企業に貸し渋りなどが起きて、地元地域の経済が悪化する懸念があります。県民を軽視した対応は避けられないと思います。県内経済がこれ以上厳しい状況下におかれることは絶対に避けたいです。	
133	足利銀行が、現状のまま相続できるように頑張ってください。	
134	足利銀行が、現状のまま相続できるようにして下さい。	
135	足銀受け皿銀行の問題に関しては、足銀を元に戻すのが一番適している。他の金融機関や外資系による受け皿対応になった場合、まず県民を軽視する対応がとられることと思われる。栃木県の企業にとってこれは絶望的な状況である。今でさえ厳しい県内経済が更に悪化することは自明の理であり、絶対に避けなくてはならない。	
136	足銀の問題について、健全化を徹底して回り、元の状態に戻すのが一番望ましいと思います。これまでの足銀の増資に対して、県民や県内の企業が協力してきました。地元にとって足銀が必要であり、今後も足銀とともに歩んでいくという強い認識があり、足銀としての存在が必要不可欠と考えるからです。	
137	足利銀行の名称で継続して欲しい。合併は、栃木銀行とは、して欲しくない。理由は、県内シェアが高くなりすぎると競争力が低下し、県民にとって選択肢がなくなる。又、宇信金の時のように、他銀行への切り売りのな分散も好ましくない。行員の士気も低下するし退職する行員も少なくないはず。 県の関与については、前向きに検討していただきたい。 とにかく、足銀の自力はまだまだあるので、現状で継続することを強く希望します。	県の関与については、前向きに検討していただきたい。
138	地元企業の経済状況を把握している足利銀行。 外資系等の金融機関が受け皿に・という案もあるが、私としては県民の意見が尊重されず県内の経済状況がますます悪化するのではないかと、一会社員として大変不安を感じる。 つまり私の意見としては「足利銀行自体が元の状態に戻る」が一番だと思う。	
139	足利銀行の倒産で、他の銀行に変わるということは、納得が行きません。 栃木県の為の銀行と言うことで「県民銀行」に賛成です。 ぜひ実行して行って下さい。成功を心から祈っております。	栃木県の為の銀行と言うことで「県民銀行」に賛成です。

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
140	<p>足利銀行の問題につきましては、健全化を徹底して図り、足利銀行事態が元の状態に戻るのが一番望ましい。</p> <p>理由としては、今まで足利銀行に対し、県内の多くの企業や県民が協力してきた。これは、足利銀行が地元にとって重要であり、かつ必要であるという強い思い・考えがあり、足利銀行としての存在が必要不可欠であるからだ。</p>	
141	<p>今回の足銀の件は、県内の経済等に与えた影響は、非常に大きい問題として、受け止めている。</p> <p>受け皿銀行へ、私個人望むものは、都銀や地銀上位の銀行への一括譲渡が適していると感じている。従来、足銀のシェアが50%あったことでも、問題になった位なので、もし、仮に、栃銀への譲渡という選択肢になった場合は、独占して受け持つという競争原理が失われた形になるのではと見ているためである。</p> <p>サービスや他の部門で、画一化されるよりは、今一度、2行で、競争という形を望みます。</p>	
142	<p>足利銀行の受け皿に関し、県民の意見を集めているようであるが、私は、今まで足利銀行にやらせれば良いと思う。行員も名誉挽回との気持ちでいることでしょうか。</p> <p>また、県内経済を考えると、足利銀行がなくなることはさけてほしい。</p>	
143	<p>①足利銀行の受皿について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・破綻時の影響を最小限にする為にも、足銀の様に45%もシェアを持つ銀行にしないでほしい</li> <li>・栃銀さんと同等シェアで、サービスの競争ができる銀行にしてほしい。</li> </ul>	<p>②県の関与について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元密着型の銀行が良いと思うが、県の関与は反対</li> </ul>
144	<p>株式譲渡 本県発展の為貢献していると思う。</p>	
145	<p>1方法 株式譲渡方式 2事由 旧足銀の法人格が残る。 3〃 県内銀行吸収合併では巨大銀行の誕生でシェアの独尊化をしたり、サービス面の低下につながると思います。 4〃 競争による一般投資家へのサービス向上が期待できる。 5〃 吸収合併ともなると、支店統合による失業者の増加が起きる。 6〃 吸収合併により栃木県の活力が衰退してくる。 7〃 競争あってこそ……</p> <p>足銀そのものの法人格は残すべき思料いたしますので、ご意見申し上げます。</p>	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
146	<p>県内多数の企業、県民の取引シェアをまず考えてください。「足利銀行」は栃木県のシンボルです。</p> <p>大変な経済状況下、苦労は十分察知します。今まで苦楽を共にされたお客様を一番に考えて今後とも歩んでいってほしい。その為には、他の金融機関よる受け皿対応となることは絶対望まない。それはイコールお客様が選別され、より厳しい状況下に追いやられる恐れがあり、絶対避けるべきである。「県民の銀行」として自主再建を目指し、一歩ずつ前進し、職員の方一丸となつてがんばってください。</p>	
147	<p>栃木県に足銀なしではありえない。栃銀に足銀の代わりは出来ない。県民銀行もしくは足銀の存続しかない。何とかお願いしたい。</p>	
148	<p>出来ることならば、足利銀行のままがんばってもらいたい。一時 国有化になっているが結局どこの銀行もあまり変わらないと思うので、足利銀行自体が経営基盤をしっかりと立て直してがんばってもらいたい。</p>	
149	<p>栃木県民の安定した生活を守るため、また、経済発展のためにも、ぜひ残してほしい。</p>	
150	<p>足利銀行の問題については、健全化を図り足利銀行自体を元の状態に戻すのが望ましい。</p> <p>その理由として、県内の多くの企業や県民との取引の割合・状況を考えると、その苦しい状況を把握している足利銀行が絶対的に必要であるからだ。</p>	
151	<p>足銀は栃木県にはなくてはならない存在です。どうか助けて下さい</p>	
152	<p>私は、足利銀行事態が元の状態に戻すのが一番よいと考える。</p> <p>なぜなら、今の県内の経済状況を考え、他の金融機関による受け皿の対応となると、県民のことを重視されない対応がとられる可能性が強く、県内の経済状況がますます厳しい状況に進んでしまう恐れがある。これを避けるためには、足利銀行としての存在が必要不可欠である。</p>	
153	<p>(1) シェアが大きすぎるとサービス低下が、考えられるため栃木銀行以外</p>	
154	<p>足利銀行の問題につきましては、健全化を徹底して図り、足利銀行事態が元の状態に戻すのが一番望ましいと思います。</p> <p>その理由として、足利銀行のこれまでの増資に対し県内の企業や県民が協力してきました。私も足利銀行の株式を買い協力した一人です。これは、足利銀行が地元にとって必要であり、今後も共に歩んで行こうという強い認識があったからです。また他の金融機関や外資系ではない足利銀行の存在が必要不可欠であると考えます。</p>	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
155	足利銀行の望ましい受け皿についてなのですが、健全化を図り元の状態に戻すのが望ましいと考えます。現在の栃木県の経済状態を考えると、他の金融機関による受け皿対応では、利益のみの追求になり県内経済はより厳しいものになってしまうと思います。ましてやハゲタカファンドや外資系の金融機関などをもってのほかだと思います。私もそうですが県内のみなさんは第三者割増の株券購入をし、そのせいで損もしています。それが上記のような一部の企業の利益になるものはなんとも腑に落ちません。	県民銀行とまではいかなくとも、栃木県に住む人たちのためになる再建となるように、ぜひとも県が監視できる足利銀行単体での再建を希望します。
156	足銀を潰さないでください。	
157	足利銀行の問題については、県内多数の企業や県民との取引状況、またそのシェアを踏まえると、足利銀行自体が健全化を図ることが望ましいと思う。地元を含め、他の金融機関や外資系金融機関が受け皿となった場合、県民軽視の対策が取られる可能性があり、県内経済が更に厳しい状況に追いやられる心配がある。	よって我々(県)が今まで通り足利銀行が存続できるよう最大限協力し、県内経済の安定を図るべきかと思う。
158	足利銀行は、株式譲渡方式で残したほうが良い。 理由 県内に有力銀行がない。 県内地銀と合併した場合、融資シェア等が高くなり(独占状態となる)競争原理が働かなくなるとともに、また、店舗等の見なおしにより、県民の利便性および利益が失われる可能性がある。ペイオフ対応には、銀行が複数あったほうが、対応しやすい。	
159	過去において足利銀行は色々ダークな面もあったが県内企業、地域を活性化させた面も事実。噂では栃木銀行が受け皿となる等など聞きますが、もし栃木県内で大手地方銀行が一行独占は銀行繁栄に悪いばかりか企業、地域活性にも悪影響がでるはずで。銀行も企業もライバルがあつてはじめて顧客ニーズを達成できるものだと思います。よって足利銀行は単独経営で存続すべきです。	
160	栃木県の経済の中心を担っていた足利銀行をそのまま存続させて欲しいです。なぜなら、全国的に景気が回復してきたと言われるなか、栃木はその状況をあまり感じません。栃木の経済の中心を担ってきた足利銀行の問題が影を落としていると感じます。株式譲渡以外の方法だとまた影が濃くなっていくのではないかと不安です。足利銀行にも問題があつたかもしれないですが、経営再建のチャンスの機会があれば、栃木県民で支えていければ足利銀行は、回復すると信じています。	
161	足銀の問題については、健全化を徹底して図り、足銀事態を元の状態に戻すのが一番望ましい。 県内多数の企業や県民との取引のシェア・状況を考えると、今が苦しい各取引先の企業などの状況を知り尽くしている足銀が必要不可欠です。	
162	足利銀行は栃木の宝です。なくさないで	
163	今現在、県内の地方銀行は栃木銀行一行であり、それにより栃銀への譲渡というのは県内の資金の独占になり、競争原理が失われ、サービス面などで、消費者に有罪であるとはいえないと感じます。 足銀の規模からみても不良債権が整理されれば独立し、採算可能なのではないかと思います。	活性化のためにも安定化されるまでの期間は県からの出資も必要かと思えます。
164	再建を希望します。がんばってください。	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
165	<p>足利銀行が破綻した後、県内の融資を受けていた企業は、思うような融資を受けられなくなり、倒産や規模縮小に追い込まれ、県内の経済状況は悪化している現状です。その様な県内の経済状況の中で、今、最も考えなければいけないのは、県民重視の解決法だと思います。</p> <p>他の金融機関や外資系が受け皿になれば、今まで足利銀行が行っていた様な県民重視の対応、それが無くなり、軽視される可能性が強くなり、ますます県内経済が厳しい状況下に追いやられるような恐れがあります。</p> <p>私たち県民は、これを絶対に避け、県内の経済を元に戻すべきであり、また、それ以上にしなければならぬので、県内を知り、幅広いシェアを持つ足利銀行が必要だと思います。</p>	
166	<p>県民の真の幸せのため足利銀行による継続けいを希望いたします。</p>	
167	<p>私は足利銀行の受け皿は、絶対に外資では困ります。是非、地元の銀行にしてください</p>	
168	<p>足利銀行とは、公共料金、給与、その他(引き落とし、払い込み等)も以前から長く取り引きを行っています。また近くには支店や出張所、ATM等があり、便利に利用しています。現状のとりの営業をお願いしたい。</p>	
169	<p>足利銀行の受け皿銀行については一部で栃木銀行の名前が浮上していますが、下記理由により反対します。</p> <p>1 栃木県において銀行が一行となってしまうため、競争がなくなり、中小・零細企業が多い栃木県内において、借入金の金利が銀行の言うがままとなって、ひいては他県の企業より高い金利で資金を借り入れすることになり、県内の企業を圧迫し、地盤の低下に拍車がかかる。</p> <p>2 足利銀行と栃木銀行の資金量では歴然とした差があり、栃木銀行が受け皿となった場合、足利銀行の資金量を賄いきれない。よって貸し出しの需要に応じきれない企業は、倒産に追い込まれてしまう。かつて、北海道拓殖銀行が倒産し、北海道銀行が受け皿となったが、資金量が賄いきれず、本来なら倒産しなくてもよいはずの数多くの企業が倒産し、北海道の経済が低迷し、雇用問題等に大きな影響を残し、今も大きな問題となっているのがよい例です。</p> <p>3 栃木銀行の事務は足利銀行と比べてはるかに遅れており、受け皿になっても事務が追いつかず、合致しない。</p> <p>4 足利銀行の事務ソフトは東京三菱銀行と同じであり、資金量等も問題なく、足利銀行の受け皿銀行は東京三菱銀行が最もふさわしいと考えます。</p>	
170	<p>給与振込口座であり、そこからいろいろ自動引き落としの処理をしているので、現状どりの営業をしていただきたいです。</p>	
171	<p>以前、外資が引き受けした東京スター銀行の例があるが、地元企業はもとより、従業員にとっても好ましくないと思う。やはり、地元の会社を一番理解している金融機関が引き受けするのが良いと思われる。栃木銀行が最良と考えられる。</p>	
172	<p>足利銀行の受け皿金融機関については、栃木銀行が望ましいと思います。</p>	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
173	<p>栃木銀行と合併の噂がございますが、合併した場合、栃木県内の金融業務の約7割のシェアをもつという1社独占状態になってしまいます。こうなりますと、サービスの低下など、いろいろと弊害が危惧されます。また、もし栃木銀行が足利銀行のように経営状態が悪化した場合、今回よりも大きな混乱が起こることが予想されます。このような観点から、合併するのなら都市銀行など栃木銀行以外による銀行がよいと考えます。</p>	
174	<p>地元金融機関である栃木銀行が良いと思います。・他の金融機関では同様のサービスが受けられない・地元のことは地元・栃木銀行であれば影響が少ない</p>	
175	<p>昨今、新聞等で足利銀行の受け皿銀行に付いての記事に興味を持って読んでいます。私の意見として都市銀行や他県に本店のある銀行では不安です。栃木県内に本店があり、業績も上げている栃木銀行が受け皿になる事が最も相応しく安心できます。</p>	
176	<p>今般の足銀の破綻については私も利用者として残念でならない。 ○私どもは足銀に変わる新しい銀行が早くできるよう望んでいます。旧足銀利用者としてお願いしたい。栃木県には最低二つ以上の大きな銀行が必要です。利用者としては、我々自身が銀行を選ぶ権利をいつまでも保有して、我々が自由に取引銀行を選んでいきたい。一行だけのシェアの大きな銀行だけでは問題が生じてくる。これは最も重要なポイントだと思う。 ○同県内の足銀と栃銀の合併については、一見良さそうに見えるが、銀行のシェアの問題や、またそれ以上の一行だけの独占銀行の誕生の方が利用客はおろか、まわりの地域社会にもいろいろな障害が生じて、経済面にも危険性が出ると思う。その為にも高い時限で有識者の意見判断を仰ぎたい。＜私個人としての希望＞(1)株式譲渡のかたちで法人格を残しておきたい(足銀の)(2)合併の場合でもシェアの問題及び独占的な問題を</p>	
177	<p>私は当然、地元の栃木銀行が良いと思います。足利銀行の職員もバラバラになることなく大きく生活が変わることはないと思います。栃木県民であれば県民生活を守るのは当然であり、受け皿銀行は栃木銀行にすべきです。</p>	
178	<p>私は栃木市で自営業をしています。仕事で銀行を利用しますが、やはり栃木県なのだから、栃木銀行と一本になる方が良いと思います。栃木県のことは栃木県で、と思います。</p>	
179	<p>現状のまま存続してもらいたい。</p>	
180	<p>足利銀行の受け皿銀行は栃木銀行に是非引き継いでいただきたいと思います。</p>	
181	<p>足利銀行の受け皿銀行は地元金融機関である「栃木銀行」が良いと思います。地元根付いた営業を期待しています。</p>	
182	<p>足利銀行は、県民にとって重要な役割を果たしてきた銀行であり、地元に対する影響力も大きいと思います。受け皿については、やはり地元精通した金融機関(栃木銀行等)が望ましく、特に外資を選定することは、栃木県にとってマイナス効果が大きいと思われます。</p>	
183	<p>株式譲渡(県内の経済に影響があるため、また県内経済発展のため大手銀行が必要)</p>	
184	<p>県内多数の企業や県民との取り引きのシェア、状況からして、今苦しい企業などの状況を知りつくしている足利銀行は、今後も地元にとって必要であると思う。ぜひ頑張って欲しいです。</p>	
185	<p>県民銀行として続けて欲しい(県も関与する)。一行だと独占的になるので二行で競争して、頑張って欲しい。</p>	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
186	足利銀行の受け皿は栃木県内で真面目に営業している栃木銀行がよいと思います。その理由は次のとおりです。 1 栃木銀行は経営が安定している。 2 栃木銀行は県を代表する地元金融機関で、地域の実情に詳しく、地域に貢献している。	
187	私は足銀の破綻により株で損をしました。株の購入は自己責任であるが、会社と足銀の取引関係上社員は購入せざる得なかったのが事実 もし栃銀が受け皿となれば、県内のシェア独占となり、その他の金融機関との競争もなくなり、又、もしも何かあった時のダメージは中小企業、中流家庭では耐えられない。 今後何がベストかはわかりませんが、都銀が入る、大手の地銀が受け皿になるなど、分散、競争が必要と考えます。 県民が安心して生活できる決断をお願いします。	
188	新しく銀行を作るのもよいけれど、ここには栃木銀行という立派な銀行があるから、栃木銀行が受け皿となればよい。	
189	足利銀行の受け皿は、栃木銀行でよい。	
190	足利銀行については、大手銀行などの力を借りずに、県が応援して栃木銀行を受け皿にさせていただきたいと思います。一県民として、福田知事をお願いいたします。	
191	私は足利銀行は栃木銀行が引き受ければよいのではないかと思います。	栃木県も金銭面で応援すべきだと思います。
192	新しく県民銀行を作るのもひとつの方法ですが、この栃木県には栃木銀行という地元の銀行がありますので、栃木銀行が足利銀行の受け皿になればよいと思います。	
193	世間では「栃木銀行が受け皿になれば良い」と言う人がいるが、問題が多いのである。例えば、独断的に銀行が動いてしまえば、サービスの低下し、一方的な営業になってしまいます。その為にも何とか現状の「足銀」の姿を存続することを実施してください。	
194	以前から足利銀行を利用しているので、今までと同じように営業をお願いします。	
195	足利銀行の問題につきましては、徹底して健全化を図り、足利銀行自体が元の状態に戻るのが一番望ましいと思います。その理由としましては、県内において多数の企業や県民との取引があるという状況やそのシェアを考えると、各取引先の状況を知り尽くしている足利銀行はこれからも必要不可欠であると考えられるからです。	
196	足利銀行は、一時国有化の今現在において着実に経営改善を進めていると思います。このままいくのであれば、一企業体として存続しても良いのではないかと考えます。そのために県の関与が必要なのであればそうすべきなのではないでしょうかそして私達のような零細企業や県民のための地元密着型の銀行として再生することを望みます。もう同じ轍は踏まないでしょうから。	そのために県の関与が必要なのであればそうすべきなのではないでしょうか



## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
197	<p>中小企業(あるいは事業)の「再生」は、今後の地方金融機関が経営を維持・発展させるための不可欠な要件ではある。しかしそれをビジネスモデルとして金融機関が内包する場合、「迅速な意思決定」とそれに連なる出資者及び資本構成に制約条件が課され、かつその条件をクリアすることは簡単なことではない。</p> <p>しかし、出資行為に対する徹底的な情宣活動、経営状態の公開、ビジネスモデルを理解しない出資者の排除等、クリアするための方法は幾つかあり、それらの幾つかの方法を組み合わせる事により、条件を成就することも不可能ではない。</p> <p>また、「再生部門」の独立及び外部化、株式ホールディング機能の活用といった、会計的あるいは技術的な解決方法も検討可能であろう。</p> <p>従って、「あるべき姿」論を進めていく中で、前述の相反する問題の解決を議論し検討することが、今後の地方経済「再建」の道筋であると信じている。</p>	
198	足利銀行とは会社が長い付き合いがあるので、できうる限り現状の付き合いを維持できるような営業を続けてくれる所をお願いしたいです。	県の関与(出資)については、必要最低限の出資はするべきかと思います。
199	2003年11月に経営破たんし、一時国有化された足銀ですが、受け皿が決まると、我々の生活はどうなる？入ってくる、お金、出ていく、お金、すべて足銀の我が家としては、これまでどおりの営業を、お願いしたいです。そう思っているのは、私だけではないでしょう。これ以上の混乱は避けてほしいです。	
200	栃木の経済復興の為、県民の意見を重視すべきである、足銀は栃木県にとって不可欠な存在であるから元の状態に戻すべきである。	
201	足利銀行事態が元の状態に戻るのが良いと思います。県内の企業や県民との取引のシェアや状況を考えると、今苦しい取引先の企業の状況を分かっている足利銀行が必要だと思います。	
202	栃木県とともに歩んできた足利銀行は、名前を残し新たな足利銀行として再生してほしい。これが私の希望です。	
203	いつもお世話になります。小規模事業者等にとっては、今までどおりの取引継続には株式譲渡が望ましいと考えます。実現に向けてのご配慮をよろしくお願いします。	
204	このまま、相続してほしい。	
205	現状維持でいいと思います。	
206	足銀が県内の住民や企業に対して今まで協力してきたのに、無くしてしまうのは地元の方に多大な損害がでてしまう。足銀は地元にとって必要であり、元の状態に戻るのが一番望ましい。	
207	栃木銀行は内容がよい。栃木銀行にお願いしてみたいか？	
208	足利銀行の受け皿は栃木銀行がいいと思います。栃木県には地元銀行が一番適していると思います。	県が出資して県民銀行を作ることははたして県がやることなのでしょうか？どうしても出資するのであれば地元の銀行である栃木銀行に出資したらいかがでしょうか！？
209	福田知事には受け皿は栃銀しかないと言いたいです。	
210	新しい銀行を作るには多額のお金が必要です。そのお金は税金を使うのですか。税金は使わずに栃木銀行にでも引き受けてもらえばいいのではないですか。	新しい銀行を作るには多額のお金が必要です。そのお金は税金を使うのですか。税金は使わずに栃木銀行にでも引き受けてもらえばいいのではないですか。

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
211	栃木銀行を受け皿にして国にお金を出してもらったらよいと考えます。知事は国に対してそのように提案してもらいたい。	
212	足利銀行の受け皿は栃木県を良く知っている栃銀さんだと思います。栃銀にお願いしたら如何ですか。	
213	栃木県には栃木銀行という銀行があるのだから栃木銀行を受け皿としてはどうですか。栃木銀行の行員さんは親切ですし一生懸命やっていますよ。	
214	偉い先生方が議論しているが、栃木には栃木の銀行、栃木銀行があるのだから、そこにすればいいのではないですか。	
215	「地元伝統のある足銀に継続したい。」しかし、私も足銀破たんて数百万円の株券を失っているので足銀のばかやろうと思っている。	
216	足利銀行の受け皿は外資系以外ならどこでもよいと思います。ただし、栃木県が受け皿にお金を出すのなら受け皿は栃木銀行だと思います。	
217	足利銀行の受け皿は大手銀行や外資など栃木県と縁もゆかりもないところでは困ります。今までの足利銀行と同じように営業してくれるような銀行が望ましいと思います。この際、思い切って規模は小さいけれど、経営内容のよい栃木銀行に引き受けてもらってはどうかと思います。栃木銀行は地元の銀行ですし、心配ないと思います。	
218	足利銀行や栃木銀行はもともと県民の銀行です。ですから、受け皿は栃木銀行でいいです。	
219	私は栃木生まれ、栃木のことはよく知っています。足利銀行の受け皿もこの栃木県をよく知っているところがよいと思います。足銀がだめになったのなら栃銀にお願いすれば済むことではないですか。知事が栃銀にお願いすればよいのでは。	
220	足銀の受け皿は栃銀で決まり。	
221	なぜ県民銀行が必要なのでしょうか、私には理解できません。栃木銀行を使えばいいことだと思います。	
222	地銀の雄として頑張ってきた足銀の名前を是が非でも残してもらいたい。県民銀行の設立も考えてもらいたい。外資系や栃銀の受け皿はこのましくない。	県民銀行の設立も考えてもらいたい。
223	現在のところ、受け皿として栃木銀行が有力とされていますが、栃木銀行の寡占状態になってしまうので好ましくないとします。	
224	足利銀行の受け皿は絶対に外資では困ります。是非地元の銀行にしてください。	
225	栃木銀行は融資に渋いが、その結果、経営内容は立派です。私は栃木銀行を推薦します。	
226	栃木県には「栃木銀行」という銀行があるのだから、栃木銀行さんに是非頑張ってもらえればよいと思います。	
227	足利銀行の受け皿は誰が見ても栃木銀行でしょう。栃木県には栃銀以外の銀行がないのだから、栃銀で当然です。	県が出資して県民銀行を作ることは県がやることではありません。どうしても出資するなら栃銀に出資すれば良いと思います。
228	足利銀行の受け皿は栃木銀行がよいと思います。理由はずっと栃木県に本店があり、地元の銀行だからです。東京三菱は絶対に嫌です。	
229	足利銀行の受け皿は地元の栃木銀行が良いと思います。栃木県のことをしんげんに考えることができるのは県内銀行しかないし、外国や県外の銀行では信用できないと思います。	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
230	足銀の受け皿は大手銀行や外資とかいろいろ報道されていますが、経営内容の良い栃木銀行では如何でしょうか。足銀よりは小さいですが、昔からずっとがんばっています、ここでもっとがんばってもらい足銀を引き受けてもらってはどうか、地元には地元の銀行です。都銀やわけの分からないところではみんなが困ると思います。	
231	足利銀行の受け皿は絶対に他からの銀行では困ります。ここには栃木銀行があるのだから、栃木銀行を受け皿にしてください。	
232	足利銀行の受け皿は栃木銀行でよい。栃木に本店があり栃木をよく知っているから。都銀などには地道な営業はできない。	
233	足利銀行の受け皿銀行は県内を拠点として営業している栃木銀行が良いと思います。これから企業の選別が本格化されていきますが、同じ地域金融機関であるならば、実態を十分に理解、把握しているので、安心して任せられます。今後の将来を考えると栃木県に本店を置く銀行である栃木銀行が受け皿になることがベストであると考えております。	
234	地元の銀行は足利銀行と栃木銀行だけです。ですから同じ栃木に本店を持つ栃木銀行が引き受けたら良いと思います。	
235	栃木銀行を足利銀行の受け皿としてはどうでしょうか。栃木銀行は昔からずっと地元で一生懸命がんばっています。栃木銀行を応援してます。	
236	栃木県では栃木銀行に足銀を受けてもらい、がんばってもらうことが一番だと思います。	
237	県民とすれば、望ましい受け皿はやはり地元をよく知っている地元銀行を希望したい。	
238	1県民銀行にして足利銀行の名前を残していただきたい。2県を中心に出資し、再生に向け今後も努力していただきたい。栃木銀行を受け皿にすることでシェア70%という寡占状態は絶対に避けていただきたい。	1県民銀行にして足利銀行の名前を残していただきたい。
239	足銀は私たち県民の身近にありましたので受け皿銀行も身近にある銀行が良いと思います。個人的にはと地銀でいいと思いますが、知事さんの意見はどうなんでしょうか？	
240	足利銀行の望ましい受け皿はやはり地元考えてくれる地元の銀行ではないでしょうか。	
241	地元の銀行が受け皿であれば地元の意向が十分に反映されやすく、実質的に「県民銀行」と呼べるはずで。地元銀行とは栃木銀行です。	
242	知事さんは受け皿はどこがよいと考えているのでしょうか。栃木には栃木銀行という立派な銀行があります。栃木銀行にお願いすればよいのではないですか。	
243	県民のための銀行は地元の事情に精通していることが重要です。その意味から足利銀行の受け皿として栃木銀行を推薦します。	
244	新しく銀行を作るのもよいけれど、ここには栃木銀行という立派な銀行がある。したがって栃木銀行を足利銀行の受け皿とすればよい。	
245	足銀の受け皿は大手銀行や外資ではなく、地元の栃木銀行がよいと思います。	
246	私の周りでは皆が栃木銀行が受け皿になると思っています。栃木銀行ではダメなんでしょうか。	
247	足利銀行の受け皿さえしっかりすれば栃木県は安泰だと思います。是非栃木銀行さんにかんばってもらいたいと思います。	
248	受け皿は栃木銀行、私はそう思います。	
249	1栃木銀行が最良と思う	2足利銀行への出資で県の損害(県民の損)を考えれば出資は大反対です。

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
250	足利銀行の一時国有化に際し、多大なる損失を被った宇都宮市の一市民として声を大にしてお願いしたいことは、足利銀行を再生したいという事です。栃木県に100年の歴史を持つ地元足利銀行を無にしてはいけません。大きな損失を被ったからこそ敢えてそう願うのです。それには栃木県が大きな力となり地元再生の為、力の限り努力しなければなりません。大企業に働きかけは当然のことでしょうが、地元県内の有力企業、あるいは県民全体に大きなパワーを持たせてください。決して外資系の企業等に委ねてはなりません。そんな事になれば栃木県は滅びます。栃木県民銀行ができれば最高です。とにかく足利銀行の名を消してはなりません。	栃木県は出資も含めて足利銀行復活のため最大限の努力をすべきです。一日も早い足利銀行再生を願うものであります。
251	新規に設立してほしいです。	受け皿への出資 否
252	栃木の最大手足銀の現状維持を望みます	
253	足利銀行は地域密着の市民銀行であるため、既存の営業形態を維持し、単独の再生を目指すべきである。	県はこの体制を維持するためできる限りの支援を行う。
254	地元の銀行としての機能を十分に生かせる金融機関になってほしい。望ましい事は、外資系および都市銀行等主導の受け皿は、問題があるように思います。現在、当社も足利銀行をメインとして取引を致しておりますが、現在足利銀行の取引に関しての対応が良しと考えます。	栃木県としての対応(関与)については、具体的には出資はすべきではないと思います。あくまでも民間経営が望ましい。
255	足利銀行は、今のままでやってほしい。栃木銀行はサービスが悪いのでやだ	
256	栃木県における足利銀行の存在意義は大きいと思います。したがって受け皿としては、今の足利銀行の経営理念・方針を理解し、これを踏襲してもらえる先であることが必須条件であると考えます。	望ましい受け皿の実現にむけて県が意見を言い、さらに行動することは当然に必要なことだと思います。しかしながら、出資することには賛成できません。あくまで民間金融機関として存在すべきと思います。
257	私達が住む県北地域では、大手都市銀行も無く、大手都市銀行をメインバンクとするような大企業もありません。景気の低迷が続く現状の中で、銀行が今後今までと同様の付き合いをしてくれるかに大変な不安があります。どのような解決になるか解りませんが、中小企業の声が届くには、県が銀行を支援し発言権を持つことが大切であると思います。また、現在の中小企業の経営状況は、足銀の従業員が一番良く解っていますので、もちろん整理した上での継続的な雇用が必要であると考えます。私達が経営努力をさらにしていく事を大前提として、そのような解決の方向に進むと安心感が持てます。	どのような解決になるか解りませんが、中小企業の声が届くには、県が銀行を支援し発言権を持つことが大切であると思います。
258	(1)「県民銀行」または県内金融機関を、受け皿銀行にすべきである。資本の論理だけで動く外資系金融機関は、受け皿銀行にすべきではない。	(2)受け皿銀行をどこにするかについては、県は県民の立場から積極的に関与し、要望もして欲しい。受け皿銀行への出資も、前向きに検討すべきである。
259	県内の経済状況を考えると、今は県民重視の解決が必要、他の金融機関や外資系による受け皿となつては、県民軽視の対応がとられる可能性が強く、県内経済がより厳しい状況下に追いやられる方向に進んでしまう恐れがあるので、これは絶対に避けるべきだ	
260	あしぎん頑張れ!	
261	(1)「県民銀行」または県内金融機関。	(2)県は積極的に関与し、要望もして欲しい。出資も、前向きに検討すること。
262	足利銀行さんには栃木県の企業の為にも単独で続けてほしい	
263	合併ではなく、単独で続けて	県も、出資をしてほしいです。
264	足利銀行は県民や地元企業と共に歩んで来ている為、足利銀行単体での存続を希望します。	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
265		(2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与について 受け皿銀行への出資には賛成 3年以内に受け皿銀行を決定すると言う限られたスケジュールの中、融資資格付けの見直しが着々と進められ、企業経営者にとっては苦悩の日々が続いている。同時に受け皿銀行がどこになるのかという問題は、我々にとっては大変大きな問題。一時国有化によって、足利銀行の信用は一気に失墜し優良顧客が離れたとはいえ、県民にとっては必要な金融機関であることは言うまでもない。行政が、企業経営を行うことは、多くの第3セクターの失敗に見られるように行うべくでないと考えますが、資本を一部出資することにより受け皿銀行に対して、経営全般に対し発言権を得、管理監督する株主としての権利を履行する事ができるならば、県民の暮らしを最優先とする行政の役割であると考えます。福田富一知事の公約の実現に期待致します。
266	(1)栃木県内の事であれば「足利銀行」に次ぐ銀行といえば地元をより詳しく知っている「栃木銀行」しかないと思います、その他については考えられません、「栃木銀行」にしたらよろしいでしょう。	(2)「栃木県」の関与は不要でしょう、地元民間企業の自由でのびのびした発想の基に任せるべきです(受け皿への出資は否)
267	(1)外資系銀行は、絶対に、いやです！	(2)県は、最大限の力を発揮し、できれば、県の、個人、中小企業、にやさしい、そして、入りしやすい、県民銀行のような形を、とれば、ベストだと思います。
268	(1)受け皿銀行には日本国民の血税が投入されるのだから少なくとも日本の銀行になるべき	(2)栃木県は受け皿銀行へある程度出資をして関与するべきだ
269	1)足利銀行が破綻した原因などについては十二分に精査し適切な説明が必要と思われる。しかし、受皿機関に関しては足利銀行が目指している将来像が地域密着やりテール特化であること、或いは地域金融機関としての使命を果たさせるためにも分割譲渡などは検討すべきでないと考える。できる事なら「足利銀行」の固有名詞を残した形で現在の取引先や将来の取引先が安心できる 譲渡先を選定すべきと思う。	2)将来に向けても足利銀行の存在は栃木県或いは県民にも果たす役割は絶大と考えるので大いに関与することを期待する。 但し、出資に関しては小生としては判断しかねます。
270	県民として、足銀の受け皿に外資系は絶対に反対です！利益追求優先で国の援助を受け高値で売却するだけ！税金で外資系金融機関に利益を与えるだけ！希望としては栃木銀行を母体として国の援助を受け県も出資する形態が理想的ではないでしょうか、地域に根差した金融機関でなければ地域経済の発展は望めないと思います。	希望としては栃木銀行を母体として国の援助を受け県も出資する形態が理想的ではないでしょうか、
271	(1)一時的に県民ファンド等へ譲渡し、経営陣の入れ替え等で再生し足銀単独で再上場する。 理由 1外資への譲渡は地方銀行ではなじまない 2メガバンクへも地域性を考えると現実性が無い 3隣接県の地銀への譲渡は栃木県の地盤沈下がよりすすむ	(2)資本の参加は小額でよいが経営には関わらなくては絶対にだめだ。県内の企業、団体、個人にファンドの参加を求めるリーダー役に徹して、健全化した新生足利銀行を支えてほしい。
272	長い間栃木県の看板として地域に貢献してきた足利銀行なのでから他の資本が入ろうともなるべく現状の形を残せるようにしてもらいたいと思います	
273	足利銀行の名前が残るよう努力してほしい。外資系銀行、都市銀行の受け皿では困	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
274	栃木県と県内企業そして県民及びその周辺地域のためになる銀行が手をあげてくれることを強く望みます。国内はじめてのケースとなるのですが、もう失敗は許されません。できれば力のある銀行または盤石な出資者が出てきてほしいものです。それに必要であれば、県や市町村の関与も考えるべきでしょう。しかし、お役所は経営にはタッチしないほうが良いかも…。いずれにしても早く確実に決めないと私たちはもちろん職員の人たちも大変かも。友人のご主人が足銀に勤めていますが、ボーナスももらえずかわいそうです。新記事の賢明な判断、リーダーシップを期待しています。	それに必要であれば、県や市町村の関与も考えるべきでしょう。しかし、お役所は経営にはタッチしないほうが良いかも…。
275	私は足利銀行しか利用した事がないので単独経営をのぞんでいます。	
276	増えすぎた支店や営業所の統廃合等や、人員削減等の合理化による業績の回復に期待します。その分負担もかかり、日々の業務が大変でしょうが、どうぞ頑張ってください。本県には足銀さんは、なくてはならない存在だと考えてます。今後とも応援してます。	
277	外資系でなく国内の銀行か企業が望ましい 県としては、各方面に働きかけるだけで出資は否 地方銀行は県内には2つ必要だ。お互い競争してこそ発展があるものです。 今までの足利銀行の活動により県内に大きく貢献してきたと思う したがって株式譲渡の方法がよいのではないか。	県としては、各方面に働きかけるだけで出資は否
278	足利銀行の受け皿銀行は、地元銀行の栃木銀行が良いと思います。栃木県に本店がない銀行は、栃木県のことを本当に考えてくれないと思われます。私たちは、これからもこの土地で生きていきます。県民の生活を守らなくてはならない県は、地元の銀行を受け皿にするのが、当然だと思ひます。	
279	私は高校の頃から足利銀行さんにお世話になってます。今後はもちろん、これからずっと足銀さんに財産を預けたいです。頑張ってください。	
280	前から足銀を利用してるので単独経営を希望する	
281	県民の為の銀行として足利銀行の名前を残してもらうのが望ましいと思う	
282	足利銀行の問題につきまして、健全化を徹底して図り、足利銀行自体が元の状態に戻すのが一番よいことだと思います。 その理由として県内多数の企業や県民との取引の状況を考えると今とても苦しい状況にある各取引先の企業などをしり尽くしている足利銀行が必要であると思うからです。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
283	多くの企業・多くの県民に愛され、慣れ親しまれて来た銀行、バブルがはじけて厳しい試練にさらされ、耐えてきた銀行、おごりの時代もあったかもしれない。だが、今、心から反省し再生に向かって精一杯頑張っていることと思います。だからこそ企業の痛みも県民の痛みも分かっているはずである。そんな足利銀行を無くしてしまっても良いものだろうか。私は足利銀行が他の銀行と合併することにも反対です。増して外資系の銀行との合併なんてとんでもない話です。これまでも足利銀行が健全になることを願って再建のために増資にも協力して来ました。生まれて始めて買った株券でした。記念に保存してあります。それだけに今までどおりの足利銀行として存続して行って欲しいと願うものであります。また、それが一番良い方法だと思っております。なぜなら他の銀行と合併すれば、地銀最大手の銀行になることは間違いないでしょう。しかし、そうなると、今、やっと明かりが見え始めて来た零細企業や小さい会社は相手にしてもらえなくなる可能性が出てくるからです。景気にやっと明かりが見えはじめて来たものもまた悪化に転じ、冷えこんでしまうおそれがあるからです。だから現在のままの足利銀行で存続して頂くことを節に望むものであります。	
284	現在、栃木県の地方銀行は栃木銀行一行である。ここへ足銀を譲渡したとなると、県内は栃木銀行独占の状態に陥り、県民にとって好ましくない状態になると思う。 足銀の営業基盤を守り、尚且つ一般消費者や中小企業にとって安心した将来を望むのであれば、地元金融機関へ譲渡するより都市銀行や地銀上位へ譲渡すべきなのではと思う。 この件については、目先のことだけにとらわれず、県民一人一人に有利な譲渡を強く望みたい。	
285	現在、様々な取り引きをしているため「変わってしまう」ことに大変な不安をおぼえます。現状のまま、営業続行されることを望みます。	
286	足利銀行の問題については、毎日新聞報道され、非常に不安を感じております。 今後、足銀の行く末を早く決定し、安心したいと思います。 1. 受皿銀行は、地元の栃木銀行が最適です。県外の銀行、大手銀行、外資系は引受けさせるべきではない。	
287	足利銀行の受け皿銀行は、地域の実情を熟知している栃木銀行が良いと思います。これから、企業の選別が本格化していきますが、同じ地域金融機関でしたら、実情を十分に把握しておりますので、安心して任せられます。 また、県経済、県政の独自性を考えますと、地元を基盤とする銀行を受け皿にするのは当然であると思います。	2. 栃木県も、大いに出資をして、協力してほしい。県民が安心しますし、新銀行に協力して行くでしょう。
288	栃木県は栃木銀行に受け皿を頼んでみてはどうですか。福田知事はなぜ栃木銀行にお願いしないのですか。	
289	足利銀行の受け皿は、栃木銀行さんにかんばってもらいたいと思います。	
290	地元の銀行が受け皿であれば、地元の意向が十分に反映されやすく、実質的に「県民銀行」と呼べるはずですが、したがって、受け皿は、地元が一番親身になって考えてくれる栃木銀行したありません。	
291	受け皿は地元が良いといわれているのだから、栃木銀行で良いと思います。	
292	知事さんは、受け皿を栃木銀行にお願いすればよいのではないですか。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
293	私は、足利銀行の受け皿には栃木銀行がなるべきと考えています。 栃木県も、何らかの形で応援すべきだと思います。	
294	1. 栃木銀行が受け皿になる話もある様ですが、栃木銀行が受け皿となった場合、県内の金融機関が(大規模)1行となり、サービス等、独占になり、県内の企業発展が望めないと考えます。	2. 県の関与がある場合、県民の税金を使うことになり、県民に負担がかかってくると考える。 税金を使う事なく、何らかの関与ができればよいと考える。
295	足利銀行の規模を安心して引受けできる地元銀行は、現在、見当たらないし、今後の県民が安心できる先は都銀や上位の地銀、または、県民銀行をしての独立がもっとも望ましいと思います。	
296	足利銀行の受け皿は、栃木銀行以外に考えられない。 栃木銀行を是非受け皿にしてください。	
297	栃銀さんは経営内容が良いと利きますので、足利銀行は栃銀さんが面倒を見ればよいのではないのでしょうか。	
298	栃木県民としては、受け皿についてまず地元のことを考えるべきです。地元をよく知っていることが県民銀行であり、地元を無視しては、本当の県民銀行はあり得ません。 その意味では、受け皿として栃木銀行がふさわしいと思います。	
299	県民銀行もすばらしい考え方だと思いますが、税金を使って作る必要はないと思います。栃木県に古くからある栃木銀行を受け皿に考えてみてはどうかと思います。	県民銀行もすばらしい考え方だと思いますが、税金を使って作る必要はないと思います。
300	県民のためには、県民のことをよく知っている地元の栃木銀行を推薦します。 是非、栃木銀行を取り上げていただきたいと思います。	
301	足利銀行の受け皿は、栃木という地元をよく知っている栃木銀行でよいと思います。	
302	知事さんには、是非とも、栃木銀行が受け皿になるようお願いしていただきたいと思い	
303	足利銀行の受け皿は、栃木銀行でよいと思います。	
304	ここは、是非栃木銀行さんにかんばってもらい、足利銀行の受け皿になっていただきたいと思います。	
305	地元の銀行が受け皿であれば、地元住民のことを十分に考えていただけ、その銀行は実質的に「県民銀行」です。したがって、受け皿は、地元身近な存在である栃木銀行しかありません。	
306	栃木県には、地元銀行の栃木銀行があるわけですから、地元の利益を守るためにも、当然、栃木銀行が受け皿になるべきでないですか。 仮に、外資や都市銀行が受け皿になった場合、都市部以外の足銀の支店は廃止になってしまいます。これは、その地域住民にとって重大なもんだいであり、生活基盤が根底から崩れてしまいます。栃銀が受け皿になれば、その点安心して任せられますし、地元から撤退することはありません。	



「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
307	<p>栃木県経済の先行き不透明感を払拭するためには、足利銀行の受け皿を早くに決めることが大切だと思います。</p> <p>今の状態は、企業にとってよい状態とは言えず、企業には設備投資といった前向きな考えはありません。このままでは10年後の栃木県を考えると、暗澹たる気持ちになってしまいます。</p> <p>受け皿銀行は、栃木県に本店を置き、地元企業の支援、地元の利益、雇用などに配慮できる銀行でなければなりません。その条件を持っているのは、「栃木銀行」のほかには無いと思います。</p>	
308	<p>足利銀行の大きさから見て、不良債権処理が順調に進めば、独立して採算可能な体力があると思いますので、足利銀行を分割又は中小金融機関への譲渡は効率的でないと思います。</p>	
309	<p>足利銀行の受け皿は、絶対に栃木銀行です。栃木銀行がんばれ。</p>	
310	<p>栃木県民としては、受け皿については地元の銀行を大切に考えるべきです。地元を無視して、本当の県民銀行はありません。</p>	
311	<p>足利銀行の受け皿として県民銀行も理想ですが、県民の税金を使ってまでやることはないので、栃木銀行を受け皿にしては如何でしょうか。</p>	<p>県民銀行も理想ですが、県民の税金を使ってまでやることはない</p>
312	<p>足銀さんは、栃銀さんがいろいろと親切ですから、栃銀さんに受けてもらえばよいと思います。</p>	
313	<p>県民のためには、地元の事情に精通している栃木銀行を推薦します。</p>	
314	<p>足銀の規模を安心して引受けできる地元銀行は、現在のところ見当たらないと思う。今後、栃木県民が安心して取引できる先は、都銀や地銀上位の銀行、または県民銀行という形での独立が望ましいと思う。</p>	
315	<p>今まで県内地域密着の地銀として代表してきた足銀ですから、合併せずに足利銀行として今後も営業を続けていただくことを願う。</p>	
316	<p>(1) 投機目的ではなく、栃木県に基盤を置く地方銀行としての基本的な機能・役割を十分認識した受け皿であればどこでも(外資であっても)よい。ただし、以前の足利銀行の地域におけるシェアを大きく上回ってしまうような受け皿の選定は、自由競争の観点から避けるべきである。</p>	<p>(2) 受け皿の選定に対し県は関与すべきではない。地方公共団体として一民間企業の動向に対し「責任」を負うようなことをしてはいけない。万一県に「責任」が発生した場合、そのツケは県民に回ってくる。</p>
317	<p>1) 地元中心で願います。外資系や全国的な組織は望ましくない。</p>	<p>2) 県民銀行として県民の生活を守って頂ける様な地域と密着出来る方法を検討して下さい。</p>
318	<p>(1) 足利銀行単独再生が望ましい。 絶対にダメなのは、外資系と栃木銀行。 外資系だと青い目にのっとられるだけでなく、金がすべてとなってしまう。 栃木銀行だと独占状態になってしまう。宇信金がなくなり、栃中信もなくなり、これ以上無くなると競争がなくなり、倒産が増大する。</p>	<p>(2) 受け皿への出資は積極的に行うべきである。東京新銀行とまではいなくても出資すべきである。</p>
319	<p>今のままで良いと思う。</p>	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
320	望ましい形とは、国有化前の（銀行）として、本来の堅実な銀行です。それは県民に犠牲を強いた銀行ではなく、プライド高い健全な銀行です。われわれ栃木県民の多くはあの金融界に激震を走らせた渦中にいた県民です。そして少ないながら増資に応じました。良いとき悪いときを、共にしています。だから、これからは本来の銀行になって戻って欲しいのです。これからも他にこんなに良いパートナーは、無いでしょう、また一緒にやっていきましょう。栃木県の経済の中心として歴史有る足利銀行を、他には渡せないでしょう。県民の血肉になっているのです。ましてや、苦勞して戻ってくるのですから。足利銀行はこれから良くなっていく県有財産です。県益を守り続けましょう。悪いときだけつき合っ、良くなってバイバイは無いでしょう。少ない銀行預金でも、他県に中心重心をおいて、貸し付け他県に投資され雇用を増やす。そこまではつきあえない。それこそ、あの紙くずを金に戻してくれ。浮かばれないじゃないか、あのなくなったお金。受け皿は、旧足利利用者は永遠に一心同体です。頑張ろう足利銀行。また栃木県中心でお願いします。	
321	(1)経営力の安定している都市銀行に受け皿となってほしい。もう損をするのはいやだ。	(2)関与しても良いが出資はしないほうが良いと思う。
322	(1)将来の上場益をねらうような県外資本の受け皿は反対です。地元の栃木銀行さんが良いと思います。	(2)県の関与については、少額の出資であればやむを得ないと思います。
323	(1)県民への利便性(店舗網の維持等)を第一に考えるなら株式譲渡が良い。その場合、経済合理性を重視する外資、国内金融機関であってはなりません(県民性から反発も予想されます、成果主義を追求すると行員からの反発も予想されます)。サービス業として真に顧客のニーズ(県民のニーズ)を汲み取り商品販売戦略に活用し、結果として利益の確保につなげている企業が理想です。具体的には、従業員に対して日本的経営慣行を残している(成果主義とミックス)国内企業でトヨタ自動車、花王、キャノンなど異業種でも真に顧客のニーズを敏感にとらえかつ業績を伸ばしている企業が良いと思います。 また、栃木銀行は絶対にいけません。銀行の体質以前の問題であり、今まで以上に金融機関のシェアが大きくなり、県民の選択肢が狭まります。健全な金融機関同士の競争があつてこそ、県民へのサービスが向上すると思います。 しかし、現在においても足銀は顧客の利益を考えずに営業推進に猪突猛進する体質は変わっていないように感じるので、受け皿の企業は、極端に言えば今の店長席を一扫して人事刷新するくらいの意気込みで改革していかないと、足利銀行は県民のための銀行には変わりません。	(2)全額出資は反対ですが、一部出資することにより経営への発言権を有してください。二度と「暴走」を繰り返さないようチェック機能を働かせて、地域に貢献する銀行にしてください(繰り返しますが栃木県民、企業の発展に貢献するのではなく自らの利益しか考えていないという体質は変わっていないように思います)。
324	足銀は、栃木県の経済のまさに、血液を供給する心臓です。この心臓を、外資系の銀行や、利益最優先の都銀にすべてを預けるのは、自殺行為と考えます。	地域性や、県内企業の均衡ある発展のため、ぜひ県としても深く関わっていくべきと考えます。当然出資すべきです。
325	受け皿銀行として、栃木県の銀行栃木銀行が受ける。	県は、指導・斡旋等は積極的に行うが、税金からの出資や公金の貸付など違法行為は行わない。あくまで民間主導の再生にするべき。
326	足銀は私にとって大切な存在です。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
327	(1)銀行は地域経済にとってなくてはならない存在。それゆえ営利を求める民間企業であっても極めて公共性の高い機関である。特に足利銀行は地銀の中でも歴史が古く、県内の預金・貸出のシェアは圧倒的であり、地域経済に深く根をおろしている。したがって地域経済ひいては県民生活に大きく影響する受け皿銀行の選定にあたっては、利益の出る部門のみ買収し、地域経済にとっては不可欠であるがその部門のみでは収益性の低い部門を切り捨てる良いとこ取りの金融機関。また、外資系のように株価が上昇した時点で銀行を転売してしまうような金融機関は受け皿として適さないのはいうまでもない。受け皿としては、地域経済を理解し県民に総合的な金融サービスを提供できる国内の金融機関が望ましい。	
328	足利銀行をメインで利用しております。足利銀行の継続をお願い致します	
329	継続してほしいです！！	
330	希望することは2つ ①一括譲渡が実現すること ②現状の地方銀行としてのビジネスモデルを維持すること 理由 業績のよい企業に資金を供給することは他の金融期間でも出来ませんが赤字企業と真っ向から向き合うノウハウがるのが足銀の強みだと思います。それが今後も出来るような受け皿銀行であって欲しいと思います。そうでなければ、地域にとって足銀存続の意義が無いと思われるからです。	
331	今のままで足銀として存続してもらいたいです。	
332	① 足利銀行の望ましい受け皿について 現在の栃木県民は、足利銀行が経営破綻した事を実感してないような気がする。実際、営業は継続しているし、殆どの県民は影響を受けていない。本来ならば、倒産した企業であれば早急に整理、精算しなくてはならないと思われるが、営業、サービス、量の拡大を同様行っていると聞く。なぜ？しかし、歴史ある栃木県トップ企業であった足利銀行も、今後はそのブランド名は確実に消える事になる。この事実をしっかりと受止め、栃木県民にとってベストな形で、早急に受け皿銀行にバトンタッチされるべきではないだろうか？受け皿銀行は、やはり地元重視であって欲しい。企業も、一般個人もいつでも身近な存在にある金融機関である事が、受け皿銀行の絶対条件であると思う。都市銀行、外資系銀行、他県に本店を置く地方銀行等では地域密着は難しいと思う。長期的な信頼関係を結び、県民にメリットのある金融機関と考え、栃木銀行が最良と思う。栃木銀行が足利銀行の優秀な人材を引受けて、両銀行の良いところを上手く合わせ県民が安心して取引できる様な銀行が誕生する事を期待したい。	②望ましい受け皿の実現に向けた県の関与について 足利銀行株では、多くの株主が損失を被ったが、県や各市町村の協力も同様、水の泡となった。その源資は税金！しかも、県民に許可なく多くの損失を発生させた。真面目に働き、納税している県民は不満です！二度とこのような事がない様、県は関与するべきではないと思う。
333	足利銀行が破綻して1年を経過しましたが、県内経済も平静を保っているようにも見えますが、このままでは混乱するであろう、そうならない為にも、譲渡金融機関を東京三菱銀行や常陽銀行、群馬銀行などに譲渡し、県内は2大銀行として切磋琢磨し金融の透明性、公平性を確保することが県民にとってより安心であり、経済の活性化が望めるのではないのでしょうか。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
334	足利銀行は栃木県を代表する身近な地方銀行であり、私も約40年間取引の利用をさせて頂いておりますので、是非今まで通りの銀行として、営業を継続して頂きたくお願い致します。	
335	足利銀行は現在そのまま残って欲しい。栃木銀行が受け皿になることは県内の金融バランスを損なうものであり、県民の利益にもならない。	
336	1. 足利銀行の受け皿は、栃木県を良く知っていると栃銀さんだと思います。栃銀にお願いしたら如何ですか。	2. 公的立場の県は関与すべきでないと思います。
337	1. 都市銀行がいい	2. 受け皿になる銀行が見つかるよう出資してもいいと思う。
338	足利銀行は私に取っては重要な役割をしており今まで通りの営業をお願いしたい。	
339	足利銀行とは、以前から取り引きを行っているので、今までどうりの営業をお願いしたいと思う。	
340	足利銀行は公共料金の引落としや給料の振込みなどで利用している。 また支店が近くにあるので便利にしている。 支店が廃止などにならない様に受皿銀行を決めるには良く検討してください。	
341	足利銀行をメインバンクとして利用。足利銀行は栃木県内のシェアが最も多い銀行。今後も今までどおりの取り引きをしたいと望んでいる。また、足利銀行の今後はその大きな預金シェアや中小企業への貸出比率の高さがゆえに栃木県の経済に大きく影響を与えるものと考えます。受け皿金融機関を選定するのであれば栃木県の経済を大きく立て直す上でも銀行・行政・産業・県民が一体となって県民のために運営のできる銀行であって欲しいと願います。例えてしまうと県民共済のような県民の銀行となれば今までの栃木県内のシェアも無駄にならないと思います。	
342	①地元栃木県の銀行 栃木銀行が望ましいと思います。	②地元の利益尊重のため、県当局は栃木銀行を受け皿金融機関として努力して欲しいと思います。
343	1受け皿は「キャピタルゲインをねらう県外の銀行、資本家は反対です」真面目に努力している栃木銀行が良いと思う。	2県の出資は最小限にしていきたい。
344	栃木銀行が最妥当だと思いますのでよろしくお願い申し上げます。	
345	栃木銀行が最妥当だと思いますのでよろしくお願い申し上げます。	
346	①足利銀行の望ましい受け皿について ・東京三菱銀行、群馬銀行、常陽銀行等に引き受けてもらう・栃木銀行は旧相互銀行であり、経営体質、システム的にも問題あり、栃銀は希望しない。・外資銀行は希望しない。	②県の関与について ・足銀の再生について県は積極的に関与すべきである。・栃木県、特に温泉地域は不況であり、県はそれなりの責任がある訳で県民銀行の設立を希望します。
347	栃銀が足銀を引き受ければ、栃銀は「県民銀行」と呼べるのではないか。足銀の受け皿は栃銀でよい。	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
348	日本を代表する大手銀行・金融グループに株式譲渡して県民が従来の足銀の元で憶測に流されない安心した取り引きができる体制を作ってもらいたい。大手行・グループは海外へ向けての日本経済発展の助力と国内経済発展への助力を担っているものと思います。政府の指導もあり金融のシステム・秩序が整備され、日本の代表金融機関・グループは知る限りでは基盤は強化されている様に思われます。優良大手行・グループの客観的に地方経済を知り尽くしたこのバックアップこそが足銀の力となり本来もっている企業・住民の支援体制からより以上の地方経済の活性化が期待できます。また祖父母の代からの足銀という名は消さずに身近な親しみのある金融機関として残してもらいたい。	
349	栃木銀行に足利銀行の受け皿をお願いすればよいと思う。	
350	県民銀行は作る必要はないのでは。栃木には栃木銀行がある。栃木銀行を足利銀行の受け皿にすればよい。	
351	足利銀行の受け皿は地元にある本店のある栃木銀行でよい。栃木銀行は地元をよく知っているから。都銀や外資系では営業スタイルが違うので迷惑だ。	
352	足利銀行の受け皿は地元の銀行が当然です。簡単ですが地元の栃木銀行を受け皿にするべきです。	
353	足利銀行の受け皿は是非栃銀さんに引き受けてもらいたいと思います。栃木県に地盤があり地域経済性を充分理解している為	
354	足利銀行の受け皿はこの地元でがんばっている栃木銀行をお願いしたいと思います。	
355	足利銀行の受け皿は地元の栃木銀行しかありません。都銀や外資では私のような者は相手にしてくれません。	
356	県民銀行が理想の足利銀行の受け皿。しかしここで栃木県が作る必要はない。地元には栃木銀行がありますから、栃木銀行に受け皿になってもらえればよい。	
357	北洋銀行が北海道拓殖銀行を引き受けたように、栃木銀行が足利銀行を引き受ければよいのではないか。	
358	足利銀行の受け皿は栃木の事情に精通していることが大切だと思います。ですから、足利銀行の受け皿は栃木銀行がよいと思います。	
359	1受け皿銀行について あくまでも地元地方銀行は2行で競争原理に基づいた方向で営業させるべきです。この観点に立ち、受け皿銀行は大手都銀または関東地方の有力地銀とすべきだと思います。(外資系は除く)	2県の関与について 受け皿実現に向け、大小にかかわらず出資を行い、より早く、また今後の経営にも積極的に参画すべきと思います。
360	足利銀行には日ごろからお世話になっているので、今までどおり運営していただきたい	
361	足銀の存続を希望します。	
362	銀行取引の受け皿は現状どおり足利銀行によろしく願います。	
363	足利銀行の継続を希望します。	
364	受け皿銀行を足利銀行に願います。	
365	足利銀行行名をのこしてほしい。	
366	足銀に従来どおり信頼回復のため継続していただきたい。	
367	足利銀行富士見ヶ丘支店をなくさない様願います。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
368	今までどおりに足利銀行の名前をつづけてください。	
369	足利銀行の継続をお願いします。	
370	栃木県内に広く店舗網を持つ足利銀行は栃木県の発展に大きく寄与したと思います。また県内おける企業においても足利銀行との取り引き、関連業務の委託、各種の納入業者等が引き続き業務の遂行ができるよう配慮されます受入先を選定していただきたくお願いします。	
371	足利銀行を存続をお願い申し上げます。	
372	私は一市民として町に密着した足銀を存続していただきたいと思います。	
373	足銀株を持っていた。現状営業を願う。	
374	足銀は栃木県のほこりで絶対安全の所と私たちは確信していたと思います、現実に利用者の私たちは近くの足銀に全くいい程カゲが見られません。接客態度は良いと思います。これからも頑張ってください。	
375	足利銀行に受け皿として残してください。	
376	私宇都宮市の一住民として足利銀行を残して欲しいと思いますのでよろしく願い申し上げます。	
377	受け皿銀行 足利銀行存続希望	
378	足利銀行を受け皿として残してください。	
379	破綻した足銀は経営者の責任 新しい銀行になり地元企業、県民に為に頑張って下さるようこれからも続行をお願いいたします。	
380	足利銀行が良い。	
381	受け皿は地元の人に親身になってくれる栃木銀行しかありません。都銀や外資では相手にしてくれませんか。	
382	私たち庶民には庶民の銀行が必要です。庶民の味方をしてくれる栃木銀行が受け皿になってくれたらよいと思います。	
383	受け皿が地元の銀行であれば県民は安心すると思います。地元の銀行を大切に考えるべきです。	
384	地元銀行である栃木銀行が当然の受け皿となるべきである。	
385	地域金融機関として栃木県を基盤とする栃木銀行が望ましい。	
386	地元(栃木県)を基盤とする栃木銀行が望ましいと思う。	
387	地元の銀行、例えば栃銀が受け皿であれば、それは「県民銀行」と呼べるはずでず。	
388	いろいろと世間で騒がれているが、足利銀行の受け皿については地元にある本店のある栃木銀行がいいのではないかと。そうすれば地元企業の為になると思う。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
389	栃木県では宇信金や栃中信が潰れ、宇都宮に本店のある銀行は栃木銀行だけになりました。栃木銀行が潰れることにでもなれば栃木県は一体どうなってしまうのか。地元の銀行がなくなってしまうのは本当に困りものだと思います。そうならないためには栃木銀行に足銀をもらい、がんばってもらいたいです。	
390	地元経済、金融の安定を最も考慮してくれるのは、地元の金融機関であると考えます。	
391	地元の銀行が受け皿になれば、うまくいくと思います。栃木銀行が受け皿になれるよう県が応援すべきです。	栃木銀行が受け皿になれるよう県が応援すべきです。
392	受け皿は栃木銀行がなれば安心です。	
393	栃木県が出資して栃木銀行を県民銀行にすればよいと思います。	栃木県が出資して栃木銀行を県民銀行にすればよいと思います。
394	栃木銀行を受け皿銀行にするのが良いと思います。昔から地元にある銀行ですし安心できます。	
395	県内企業、県内住民を第一に考えれば足銀の受け皿は栃木銀行しかない。外資系、都市銀行では困る。	
396	県民は栃木銀行を応援しよう。栃銀は県民銀行です。	
397	県民として望ましい受け皿はやはり地元の銀行ではないでしょうか。地元の銀行であれば地元のことを本当に考えてくれると思います。	そして地元の銀行が受けてくれるなら県がお金を出すことには賛成します。
398	北洋銀行が北海道拓殖銀行を引き受けたように、栃木銀行が足利銀行を引き受ければよいと思う。	
399	私は足利銀行の引受銀行に地元の銀行(栃木銀行)を推薦いたします。栃木銀行を受け皿にした場合、重複した支店は整理ができ、より効率化が計れるのでは。また栃木県にふさわしい名前とも思われます。県内には沢山の信用金庫があり大同合併し2大金融機関を望みます。	県民銀行は絶対反対です。私たちの税金を再度ムダにしないでください。行政が民業と競い合ったとき、勝ち残ったものではありません。各地の第3セクターがいい例です。いまや郵政民営化がさげばれている現在、県民銀行はナンセンスです。それに栃木県内の企業はもう出資するお金はありません。苦しめないでください。
400	新しい銀行を作るまでもなく地元の銀行で協力していけば良いと思います。	
401	足銀の受け皿金融機関としては私としては栃木銀行がベストな選択だと思います。足銀の行員の転勤問題等を考えるとその方が良いかと思います。	
402	足利銀行や栃木銀行はもともと栃木県にある銀行なので受け皿は地元の栃銀さんでよいと思います。	
403	栃木県の銀行は足利銀行と栃木銀行です。足利銀行がだめになったのなら栃木銀行が救えばいいと思います。栃木銀行は受け皿になってくれないのですか。もしそうなら知事がお願いすればよいと思います。	
404	足利銀行の受け皿はいままでの足利銀行と同じように営業してくれるような銀行であるべきです。栃木銀行ならば地元の銀行なので心配ないと思います。	
405	栃木県を基盤としている栃木銀行が望ましいと思う。	
406	栃木銀行が受け皿となってくれば安心です。	
407	足利銀行の受け皿は地元がよいと言われているのだから栃木銀行で良い	
408	受け皿銀行は地域と共生している栃木銀行としてほしい。栃木県を地盤としており支店も多く利便性が高い。外資や県外の金融機関では切り捨てられる企業が多く出て栃木県経済に悪影響を及ぼすと考えられます。	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
409	栃木のことは栃木の人間が良く分かっています。ですから足利銀行は栃木銀行が引き受ければよいではありませんか。	必要なら栃木県が出資すればよいと思います。
410	受け皿は栃銀しかないと思います。	
411	地元銀行である栃銀を受け皿にすることが県民のためではないかと思ます。	
412	足利銀行の受け皿には地元の銀行がなるのが当然だと思う。	
413	知事が栃木銀行に受け皿をお願いすればよい。	
414	いまさら新しい銀行を作る必要があるのでしょうか？地元の銀行にお願いすれば良いと思いますが如何でしょうか。	
415	県民のための銀行は地元の事情に精通していることが重要ですので、私は足利銀行の受け皿は栃木銀行がよいと思います。	
416	今まで同様地域のための銀行として継続して欲しい。	
417	私県民の一人として足利銀行の受け皿としては地元の事を十分に理解している根っからの地元の金融機関が望ましく思います。	
418	栃木県を基盤とする栃木銀行が望ましい。	
419	地元(栃木県)を基盤とする栃木銀行が望ましいと思う。	
420	県民銀行は理想の受け皿だと思いますが、栃木県が作る必要はないと思います。経営内容がしっかりして栃木銀行に引き受けてもらえばよいと思います。	
421	県民銀行を作ることは現実的ではありません。地元の銀行が引き受けるのがよいのではないですか？	
422	県民銀行を作ることは現実的ではありません。地元の銀行が引き受けるのがよいのではないですか。	
423	県庁所在地に地元銀行がなくなることは大変に困ることです。私は栃木銀行に期待したいと思います。	
424	県民銀行を作ることは現実的ではなく、地元の銀行が引き受けるのがよいと考えます。	
425	県民は栃木銀行が受け皿になると思っています。栃木銀行でよいと思いますが。	
426	受け皿としてはやはり栃木県の地元の銀行の栃木銀行が良いと思います。栃木県のこととは栃木県内で解決すべきではないでしょうか。	
427	栃木銀行が足利銀行を吸収する、いいことだと思う。	
428	受け皿は栃木銀行。	栃木県が栃木銀行に人やお金を出せば県民銀行になると思います。
429	倒産会社の足利銀行はもう地元には貢献はできません。外資とか都銀はもつてのほか、地元の栃銀が受け皿になるべきです。	
430	足利銀行や栃木銀行はもともと地元で長い間営業しています。ですから受け皿は私たちに身近な栃銀さんでよいと思います。	
431	足利銀行の受け皿は地元密着等の考えから栃木銀行が受け皿となるべきだと思います。足銀は国が潰したのだから、金が必要なら国が金を出せばよいと思います。知事にはそのように国に提案していただきたい。	
432	足利銀行の受け皿はずっと栃木県に本店があり、地元のことを分かっている栃木銀行がいいです。都銀は絶対に嫌です。	



「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
433	足利銀行の受け皿は外資系ではなく地元のために頑張っている栃銀さんにしてください。	
434	①まず栃木県が出資すべきだと思います。 ②外資を含め大手銀行に引き受けすることは栃木県のためにはならないと思います。 ③受け皿金融機関は栃木県を基盤とする栃木銀行が良いと思います。	①まず栃木県が出資すべきだと思います。
435	足利銀行を引き受けるために新しい費用(税金)をかけて新しい銀行を作る必要はあるのか。栃木銀行を使ってもいいと思う。	なるべくお金のかからない方法でやってほしい。
436	私の会社は足利銀行と取り引きしていますが個人的には栃木銀行と取り引きしています。栃木銀行の方が親切ですし、安心です。栃木銀行が受け皿となってくればよいと思います。	
437	足銀の行員の方達は、私たち県民に申し訳ないという気持ちはないのでしょうか。足銀は県民の税金を無駄にしてつぶれたんですよね。つぶれた銀行がなぜ、元に戻れるのですか？新しい銀行をつくるにもお金がかかります。また税金を使うのですか？税金は使わず、今ある銀行、例えば「栃木銀行」にでも移せばいいのではないですか。	つぶれた銀行がなぜ、元に戻れるのですか？新しい銀行をつくるにもお金がかかります。また税金を使うのですか？税金は使わず、今ある銀行、例えば「栃木銀行」にでも移せばいいのではないですか。
438	地元の企業にとって誰が一番親身になれるのでしょうか！地元の金融機関「栃木銀行」しかありません。都銀や外資ではそうはいきません。	
439	知事が金を出すから足利銀行の受け皿になってくれと栃木銀行にお願いすればいいと思います。県民銀行をつくるなど現実的ではありません。	知事が金を出すから足利銀行の受け皿になってくれと栃木銀行にお願いすればいいと思います。県民銀行をつくるなど現実的ではありません。
440	都銀や外資など私のような者は相手にしてくれない。大企業や金持ちだけを相手にするようなところは受け皿であって欲しくない。受け皿の理想論は専門家に任せるとしても、現実には身近にある銀行でよいのではないか。栃木には足銀だけでなく栃銀もある。そのことも議論していただきたい。	
441	これまで破綻した地方の銀行は地元の銀行に引き継がれています。ですから、足利銀行の受け皿は栃木銀行しかありません。	
442	足銀の受け皿は大手銀行や外資ではなく栃木銀行でよいのではないですか。	
443	足利銀行の受け皿はやはりこの栃木県をよく知っていることが一番重要ではないかと思います。地元の栃木銀行がよいと思います。	
444	かつて北海道では北洋銀行が拓殖銀行を飲み込みました。小が大を飲む、栃木銀行が足利銀行を吸収すればよい。北海道で出来て栃木で出来ないことはないと思う。	
445	地道にやってきた栃木銀行と破綻はしてしまいましたが栃木県のためにがんばってきた足利銀行。新銀行を作りお互いをライバル関係にするよりも栃銀が足銀を引き継ぎ、より強力な栃木県民の信頼できる1つの銀行を作った方が最近衰退気味にある栃木県のためになると思う。	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
446	足利銀行のあとは栃木銀行しか考えられない。なぜなら栃木県内のことをよく知っているし、そうすることが、また、県内の利益にもなる。	
447	栃木県のために是非栃木銀行に頑張ってもらいたいと思います。	
448	地域金融機関である栃木銀行が望ましいと思う。	
449	足利銀行は栃木県で生まれ育った私にとって銀行＝足利銀行といって良いほどの存在でした。その為「まさか足銀が・・・」というのが倒産を聞いたときの最初の感想でした。ニュースや新聞等、他からの情報を聞き、改めて足利銀行の倒産の事の重大さを知りました。何かと苦しい状況の続く中、足利銀行に行く度、行員の方のあいさつや親切な対応に関心させられます。栃木県の繁栄、企業の発展のためにも足利銀行として再出発していただけたらと心から願っております。	
450	①受け皿については地元で第2地銀の栃木銀行という考えもあるが、仮にそうした場合、県内の預金・貸出のシェアの大部分を占めることとなり、今回の足銀破綻以上に県内経済へ多大な影響を及ぼすものであり、これは絶対避けるべきと考える。民間である以上常に「倒産」というリスクを負うものであり歴史は繰り返されてはならない。経営基盤の安定した横浜、常陽、群馬等の地銀が望ましい。	②県の出資による県民銀行については現在の財政状態や前記のようなリスク等を考慮すると出資すべきではない。
451	まず第一に外資系銀行は絶対反対である。利益追求に走り栃木県内の経済に大きな打撃を与えることとなります。また県内の銀行に合併、譲渡した場合、店舗の統廃合が進み、さらに競争原理が働かず、企業、県民への不利益が生じることが予測される。一番望ましい形は株式譲渡により足利銀行が県民銀行として存続することだと確信します。	県選出の国会議員をはじめとして各方面と連携を密にし積極的に動いて欲しい。
452	①地元の金融機関が引き受ける②他県の金融機関が引き受ける③全く新しく立ち上げ引き受ける④現在の足銀がそのまま単独で新たにスタートする 等考えられる。まず①については、栃木銀行があげられるが現在の県内シェア20%足銀が50%を見た場合、70%になることは県内経済にとって好ましくない。独占に近い状態では特に中小企業への影響が大きいと思う。②については、地元経済の活性化に少なからずとも積極性の面で微妙にズレが生じると思う。やはり地元金融機関がよい。従って現在の足利銀行がそのまま新しくスタートするのが最良である。株式の一括譲渡等により当然別銀行になり名前も変わるだろうが、地元の銀行、県民の銀行として生まれ変わればそれが一番である。その意味で③はワンステップ手間がかかるので④がよい。足銀が単独で生まれ変わることを望みます。	
453	①足利銀行の望ましい受け皿のあり方については、株式譲渡が一番望ましい。なぜならば、株主が変わっても足利銀行の法人格はそのまま残るからです。それによってスムーズな移行ができるのではないかと。次に譲渡先については近県の安定した地方銀行、または都市銀行がふさわしいと思う。それによって県内には二大銀行(新しい銀行と栃木銀行)が共存し、お互いに刺激しあい発展することによって県内外の産業が活性化し、安定した栃木県を築き上げることができるのではないのでしょうか。	②県に望むことは混乱を避けるためには今の体制をできる限り崩さずスムーズに移行できるようにしてほしい。

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
454	現在の足銀をそのまま残し、運営される形を希望します。他の銀行(栃銀など)と合併すれば、それだけ今の足銀の店舗は減少してしまい、県民の生活に支障が生じてしまいます。また、栃木県の経済も現状より悪化してしまうでしょう。県は大量に株を購入してまで足銀を保護しようとしたのだから、国有化されても県民のよりよい暮らしのために最善の対処をしていただきたいと思います。	
455	①足利銀行の望ましい受け皿について 足利銀行の法人格がそのまま残る株式譲渡方式が望ましい。 1足利銀行はかつて地銀協内でも高収益の銀行としての評価を得ていた。その体質は今も失われていないものと思われる。不良債権の重しがなくなれば現在の陣容でも十分やっつけていけると思う。敢えて合併とか営業譲渡で足利銀行のもつポテンシャルを殺ぐ必要はないのではないか。 2永年にわたり馴れ親しんできた足利銀行が跡形もなく消えてしまうのはしのび難い。新聞によれば一時離れた取引先も回復しつつあるとのことである。多数の県民は足利銀行を見捨ててはならない。	②県の関与について 受け皿機関への県の出資はぜひ実施していただきたい。県の出資は足利銀行を残すという何よりの強いメッセージである。
456	銀行介在の仕方としては、新名称はどうなるうとも企業体としては、現銀行を引継ぐ形での営業継続を望みます。やり方としては「株式譲渡」による存在を考えます。以前からの情報をみれば、旧三菱銀行(現東京三菱)などは永く足利銀行とのつきあいも深く、たとえば資金量などからも、オーナー銀行として候補に上げられるのではないかと考えます。当県内には、栃木銀行がありますが、この銀行への併合は県内シェアの更なる増大を招き、意志疎通の悪化、それよりも顧客サービスの低下をまねくことは明らかであり、将来を考えても好ましくない。再び、現状のような破綻の様なことが起きた場合はとりかえしのつかない事になる。県内には、2行以上の普通銀行が必要であろう。	
457	地元新聞・県議員などの話は地元を熟知している金融機関にという意見が多数を占めているようです。足利銀行が破綻した最大の原因は全国でも例をみない、預金・貸出し共に県内シェアの50%弱を占めていたという点に尽きるのではと思っています。この点を鑑みますと、 1. 少なくとも現時点の足利銀行よりシェアが高くなってはいけない 2. 県内は2大銀行にして切磋琢磨し金融の透明性・公平性を確保することが必要 シェアが高いと言うことは、県内経済の中核である銀行の寡占状況となり自由な競争公平な取り扱い、金融秩序の透明性の点からも問題があると思えます。 例えばと言うことで述べさせていただきますが、譲渡金融機関を東京三菱・近隣有力地銀の常陽銀行・群馬銀行などの譲渡し、地元の金融機関と2大銀行として競争させると言うことが県民にとって一番の選択になると私は思っています。 2大銀行で競争の原理を働かせ、相互牽制しあい切磋琢磨し県内経済を活性化し寄与することが必要と感じます。	
458	株式譲渡を望みます。その理由は、足銀・栃銀の併合は行員の削減その他の問題が出てくると思われる。	
459	従来より栃木県を代表とした銀行であり、株式譲渡の方法で法人格を残したい。	
460	足利銀行の受け皿は、栃銀さんしかないとします。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
461	足利銀行のために、いまさら県民銀行を作る必要があるのですか。地元の栃木銀行にお願いすればいいと思います。	
462	地元の銀行が引き受けてくれれば、みんなが安心するのではないですか。	栃木銀行が受け皿になれるよう、県もお金を出して応援してください。
463	栃木のことは栃木の人間がよく分かっていますから、栃木銀行が足利銀行を引受ければよいではありませんか、そのために栃木県が出資することはよいことだと思います。	栃木銀行が足利銀行を引受ければよいではありませんか、そのために栃木県が出資することはよいことだと思います。
464	栃木県は、地元の栃銀さんを受け皿にすべきです。栃銀さんは栃木の地元の銀行です。栃銀さんに足銀を引き受けるように頼んでください。	
465	栃木県民であれば、受け皿には地元の銀行を考えるべきです。よそ者には栃木のことはわかりません。受け皿は、是非地元の銀行にしてください。	
466	足利銀行存続宜しく願い致します。	
467	足利銀行の受皿については、地域経済のことをよく知っている銀行がいいと思います。例えば、地元の栃木銀行です。外資系銀行などはどんなことをするか分からずとても不安です。また、大手銀行や県外の銀行などは栃木県になじむまでに時間をようすと思います。その点、地元の栃木銀行などは、地元の銀行であり最適と思います。	県の出資などもえて、早く受皿銀行が決定することを望みます。
468	受け皿銀行は地元の栃木銀行が良いと思います。都市銀行、外資系銀行、県外の銀行では安心できません。	また、県全体のことを考えれば、栃木県も出資し県民もささえていった方がよいと思います。
469	1. 県内の銀行との合併に反対・・・競争原理が働かなくなる。 2. 第1案 民間独立銀行として再出発 県も株主となる。 第2案 受け皿は常陽銀行 足銀と共に東京三菱銀行系列、システムも類似 .....(要約、抜粋)	
470	私は、毎日新聞で報道されている足利銀行の今後の行く末に対して、大変不安に感じております。 いろいろ取り上げられています足利銀行の受皿銀行については、私は、栃木銀行が最適であると考えます。栃木県の今後を考えるならば、今流行の外資系銀行などは適切ではないと考えます。 今後の栃木県発展のためには、やはり受皿銀行は栃木銀行であるべきです。	また、栃木県経済を本当に考えているならば、栃木県自身も出資をし、協力すべきであります。私達、県民にとって最適な判断をとってほしい。
471	1. 望ましい受け皿 株式譲渡により新しい金融機関にする(妥当なのは東京三菱銀行) 2. 理由 ・指定金融機関業務を他の金融機関に譲った場合の受け先の能力が未知数 ・従業員・家族の生活を考えれば独立した銀行として残ることが望ましい ・栃木銀行と合併すると重複する支店があり統廃合が難しい 3. 県の関与 ・関与(出資)した方が良い ・出資は黒字決算が恒常化した時は引き上げる .....(要約、抜粋)	3. 県の関与 ・関与(出資)した方が良い ・出資は黒字決算が恒常化した時は引き上げる .....(要約、抜粋)

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
472	<p>1. 望ましい受け皿 株式譲渡により新しい金融機関にする(具体例:東京三菱銀行、システムは三菱ソフト)</p> <p>2. 理由 ・栃木銀行と合併すると寡占化し競争がなくなる ・外資系では売却の懸念あり</p> <p>3. 県の関与 ・関与(出資)した方が良い ・出資は黒字決算が恒常化した時は引き上げる ……(要約、抜粋)</p>	<p>3. 県の関与 ・関与(出資)した方が良い ・出資は黒字決算が恒常化した時は引き上げる ……(要約、抜粋)</p>
473	<p>1. 望ましい受け皿 株式譲渡により新しい金融機関にする(具体例:東京三菱銀行)</p> <p>2. 理由 ・栃木銀行と合併すると寡占化し競争がなくなる ・不良債権先企業のことを考慮すれば足利銀行の機能が必要 ・指定金融機関の変更は自治体・銀行双方に(システム構築など)大きな負担が生じる</p> <p>3. 県の関与 ・出資すべきでない ・県は、金融取引の中で参加すべき ……(要約、抜粋)</p>	<p>3. 県の関与 ・出資すべきでない ・県は、金融取引の中で参加すべき ……(要約、抜粋)</p>
474	<p>1. 望ましい受け皿 株式譲渡により法人格を残す</p> <p>2. 理由 ・栃木銀行と合併する支店が統廃合され県民の不利益になる ・足利銀行と栃木銀行が切磋琢磨し競争して成長する姿が好ましい ・地理的分割では、従来足利銀行が得ていた収益が他県銀行に吸収される、また、指定金融機関として持っているデータが流出する</p> <p>3. 県の関与 ・県主体の出資・県民銀行設立はすべきでないが、受け皿への出資はすべき、それにより発言権確保 ……(要約、抜粋)</p>	<p>3. 県の関与 ・県主体の出資・県民銀行設立はすべきでないが、受け皿への出資はすべき、それにより発言権確保 ……(要約、抜粋)</p>
475	我々栃木県民としては、1番良い方法は県民銀行が一番望ましい	
476	<p>1. 足銀以外にはない、栃銀地銀では無理</p> <p>2. 県の出資は必要ない</p>	2. 県の出資は必要ない

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
477	<p>私の主人もサラリーマンですが、子供の教育費が大変だった頃、お友達の御主人は足銀さんで給料が高額で自慢していて、とてもやさしい思いをしました。今さら何よふざけないでと考えます。 今栃木銀行さんが地域密着でガンバッテいますので応援しております。 足銀さんは責任をとってほしいです。</p>	
478	<p>足利銀行の受け皿となる銀行は当然「栃木銀行」だと思います。地元の銀行で足元をしっかりと固めるべきではないでしょうか。近県や都市部の銀行という話もあるらしいけれど、利用する私達にとって、身近で、なじみのある栃銀が最適だと思います。そして「栃木県」としては、その場合に全面的にバックアップしていく義務があると思います。足利銀行の全てを受け継ぐ為には少々規模は小さいかも知れないけど、県、そして、県民が一丸となって支援していけば、他の金融機関に頼る必要はないのではないのでしょうか。私は、安心してお金を預けられる栃木銀行を更に応援していきたいと思います。</p>	<p>「栃木県」としては、その場合に全面的にバックアップしていく義務があると思います。</p>
479	<p>受け皿銀行は、栃木銀行が望ましいと思います。 都市銀行や外資では、企業を育てると言うより、もうかるかどうか基準となってしまう、県内経済が今以上に混乱すると思います。</p>	
480	<p>足銀受皿銀行については、地元地銀である栃木銀行が栃木県民のためにも一番望ましいと考えております。</p>	
481	<p>足利銀行の受皿となる銀行は、地元である栃木銀行がふさわしいと考えます。</p>	
482	<p>足利銀行の受皿は、地元の栃木銀行がふさわしいと思います。 外資系は地元の為にならないと考えます。</p>	
483	<p>栃木県経済のためにも、地元銀行である栃木銀行が足利銀行の受け皿銀行としてなるべきだと考えます。</p>	
484	<p>1. 私は、足利銀行の受け皿の引受けは栃木銀行が最適であると思います。何故なら栃木銀行は地元金融機関であり、栃木県内経済動向を良く知っているからです。 2. 出資は、栃木県がするのが良いと思います。 3. 県外金融機関、大手都市銀行、外資系ファンドによる足利銀行買収は栃木県経済によって将来的に良くないと思います。</p>	<p>2. 出資は、栃木県がするのが良いと思います。</p>
485	<p>受け皿銀行については、最も地元の状況に明るい銀行が引受けのべきだと思います。 都市銀行や外資系金融機関では、地元経済に貢献しようという意識が弱く、将来が不安でなりません。 県内に営業基盤を持つ栃木銀行が、現時点では最もふさわしいと思われ、栃木銀行が受け皿銀行となる事を強く望みます。</p>	
486	<p>受け皿銀行は、栃木県民のことを考え、最も利便性の良い栃木銀行にすべきと考えます。 それは、県内に支店を持ち、これからも栃木県経済の為に貢献してくれる銀行だと思うからです。</p>	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
487	<p>足利銀行の受け皿問題も栃木県民の経済問題としては一番関心が高い事項であるため、早急に結論を出した方が良いと思います。 ただ、私としては、外資系金融機関によるドライな対応は栃木県の経済情勢には合わないと考えます。 地元銀行である栃木銀行が受け皿金融機関となることを希望いたします。</p>	
488	<p>さまざまな取り引きを現在しているので、現状のまま営業続行されることを願います。</p>	
489	<p>1. 県が主導して県内各界が出資する受け皿グループへの株式譲渡 メイン株主(進出企業グループ、ベスト企業同盟、地元企業同盟) サブ株主(県民持株会、個人持株会、栃木県、市町村) 2. 県・市町村が率先して取り組む 出資も必要だが、その云々はにおいて市町村も真剣に取り組む ・・・(要約、抜粋)</p>	<p>1. 県が主導して県内各界が出資する受け皿グループへの株式譲渡 メイン株主(進出企業グループ、ベスト企業同盟、地元企業同盟) サブ株主(県民持株会、個人持株会、栃木県、市町村) 2. 県・市町村が率先して取り組む 出資も必要だが、その云々はにおいて市町村も真剣に取り組む ・・・(要約、抜粋)</p>
490	<p>足利銀行は我々、県民、市民にとって、我々の生活に密着していた銀行なので、いろいろな人の意見をとり入れてよく話し合い県民、市民にとってもっとも益になる方向に進んでもらいたい。</p>	
491	<p>栃木県基盤の銀行として、栃木銀行が受け皿となるのが望ましい。</p>	<p>あわせて栃木県の出資があればなお好ましい。</p>
492	<p>足利銀行は、栃木県内に於いて預金・貸出金の約四割のシェアを持つ最有力の金融機関でありながら、栃木県民にとって最も親しみやすい銀行である。足利銀行は、今や栃木県の銀行として一つのブランドを守らなくてはならない。そして、足利銀行には、栃木県の銀行として、より頑張ってもらいたい。</p>	
493	<p>1. 身近な地元の銀行の栃木銀行が良い。 新聞報道によると、次々に乱脈経営が発覚している銀行が残るのは許せない。</p>	
494	<p>1. 地元の栃木銀行以外ない！</p>	<p>2. 小額の出資であれば許される！</p>
495	<p>1. 受け皿金融機関は栃木銀行が良いと思います。 やはり、地元を知る銀行がベスト</p>	<p>2. 県民の税金を使うのは如何なるものか？</p>
496	<p>県民銀行としての思いがあり、況して一県民として長い間足利銀行と取引をしてまいりました関係上愛着もひとしおです。 県の出資も求め足利銀行が此まま営業を継続してもらうよう要望いたします。</p>	
497	<p>1. 県内を代表する栃木銀行しかないと思う。</p>	<p>2. 経営を守るべく、出資もやむなし</p>
498	<p>1. 基本的には足銀を受け皿として残してほしい 勿論、徹底した体質改善、行員のリストラ、銀行としての使命感の欠如に対する教育など取り上げれば切りが無いが、県民の要として立派に再生してほしい。 多くの県民が足銀を頼りに生活基盤を築いている現状も理解してほしい。</p>	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
499	<p>足銀の一時国有化以降、県内の経済はますます悪化していると思われ、今後の受け皿銀行の選択によっては、さらに一層の悪化も懸念されます。</p> <p>このため、今回、私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 受け皿銀行は、地元の栃木銀行が良い 大手銀行や外資系銀行では、地元に対する愛着もないことから格一的に対応されると思われるからです。このため、地元で頑張っている栃木銀行が最良の選択と思われるます。</p>	<p>2. 栃木県も出資すべき 今回の足銀事件も含め、県の経済の中核である受け皿銀行には関心を持つべきであり、そのためにも県の出資は必要だと思う。</p>
500	<p>1. 一刻も早く方向性を決定すべき 2. 県民の銀行として、県民に安心感を与えて欲しい</p>	
501	<p>毎日、新聞等のメディアで足銀問題が取りあげられ深いいきどおりを抱き、同時に今後の不安も感じております。</p> <p>やはり、この問題を解決し、不安を取り除くには、早急な受皿先の決定以外にないのではないのでしょうか。</p> <p>私の意見としては、受け皿銀行として、大手銀行や外資系などではなく、地元を良く知っている銀行である栃木銀行が一番望ましいと思います。</p> <p>これ以上の混乱をさける為に早期問題解決を希望します。</p>	<p>また、その際には、県民の不安がないように、県から出資をし、健全な形での引受けが良いのではないのでしょうか。</p>
502	<p>1. 栃木銀行との合併には反対します。銀行が選べなくなります。</p>	<p>2. 出資に反対</p>
503	<p>1. 新聞報道の様に県民銀行見たいな感じの受け皿が望ましく1行(栃木銀行)の独占は反対です。</p>	<p>2. 受け皿への出資は多少はしかたないと思う。</p>
504	<p>1. 栃木銀行との合併には反対です。(銀行が選べなくなるため)</p>	<p>2. 望ましくはないが、今の状態では(出資も)やむを得ないと思います。</p>
505	<p>1. 足利銀行の望ましい受け皿 新たな受け皿に譲渡したり他との合併を行うのではなく、できれば足利銀行として単独での復活・再生が望ましいその方が既存の取引先(特に融資取引先)の不安は少なくなりその結果、地元経済の安定につながるのではないか。</p>	<p>2. 受け皿の実現に向けた県の関与 県が関与することは県民の安心感につながるかもしれないが、官が民に介入することになるため問題も多い。また出資の財源(税金)も県民の理解を得られにくいと思われる。この先、足利銀行の経営や財務内容がかなり改善し、県内外の取引先や一般市民の理解が得られれば、足利銀行独自による資本をある程度集められるのではないか。</p>
506	<p>1. 栃木銀行との合併には反対です。(銀行が選べなくなる)</p>	<p>2. 県の関与(出資)には反対します。</p>
507	<p>1. 栃木銀行との合併には反対です。(銀行が選べなくなる)</p>	<p>2. 県の関与(出資)には反対します。</p>



「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
508	1. 栃木銀行との合併には反対です。(県内に一つの銀行では望ましくない)	2. 県が関与(出資)するのは望ましくない。税金の無駄遣いはやめてください。県民銀行を新しく創ってほしい。
509	1. 栃木銀行との合併には反対です。(県内に一つの銀行では望ましくない)	2. 県が関与(出資)するのは望ましくない。税金の無駄遣いは、してほしくありません。
510	1. 栃木銀行との合併には反対します	2. 県の関与(出資)はしかたないと思います。
511	1. 栃木銀行との合併には反対します	2. 県の関与(出資)はしかたないと思います。
512	1. 栃木銀行との合併には反対します(銀行が選べなくなります)	2. 県の関与(出資)に反対です。
513	1. 栃木銀行との合併には反対します(銀行が選択できなくなる為)	2. 県の関与(出資)に於いては絶対反対です。
514	1. 栃木銀行との合併には反対します(銀行が選べなくなる為)	2. 県の関与(出資)は反対です。
515	1. 栃木銀行との合併話を聞きますが、実現すればとんでもない話であり、即時中止を要望します。	2. 県の関与について、ある程度はやむをえないと思います。
516	1. 栃木銀行との合併話が出ているが、望ましくないと感じます。なぜなら県民に選択の余地がなくなってしまうから	2. 県の関与について、税の補てんもある程度はやむをえないのでは
517	1. 栃木銀行との合併には反対です。県内に一つの銀行では望ましくない	2. 県の関与(出資)するのは望ましくない。税金の無駄使いはやめてほしい。
518	1. 栃木銀行との合併には反対です。県内で一つの銀行が独占的になるのは望ましくない。	2. 県の関与(出資)は望ましくない。税金の無駄使いはやめてほしい。
519	①外資系や他の大手銀行では、どうしても目先の利益を追求して、地元優先との考えが少ないのではないか。 ②県内のシェアの半分を占め、地元に着している銀行があるだろうか。一日も早く再生しないと、栃木県自体、衰退する一方である。 ③万が一、栃木銀行との受け皿だと独占的金融機関が誕生してしまう。その場合、公共性を重視する金融機関として甚だ疑問である。銀行の意に反する場合、強制的に切り捨てられるのではないかと心配である。金融機関を選ぶのは客である。その対象は数多くあった方がより今までの金融機関は互いに競争し、切磋琢磨して大きくなったのではないかと、それが県民全体へのサービスになったのではないだろうか。絶対に一部に権力を集中させてはならない。	
520	今までの考え方を根本的に変えて県民に一人一人に親切でやさしい銀行になってほしい。	
521	足利銀行が今まで通り営業できますようにしてください。	
522	足利銀行へのこれまでの増資に対して県内の企業や私をはじめ県民の多くの人々が協力をして来。足利銀行は地元金融機関であり地元にとって必要である。今後も足利銀行があつて当然と強く認識していますので、存在させる事が不可欠である。	
523	足利銀行を是非存続させて下さい。	
524	1. 受け皿は、外資を除く大手都市銀行グループが望ましいと思います。 3. 栃木県の観光地の低迷の立ち直りを図るためには、資本と経営力が必要であり、専門のホテル立直しに優れた人材を県外から募集する必要がある。産業再生機構が支援を決めたホテル等は再生すると思うが、見送られた業績の悪い企業、ホテル等の倒産が懸念されます。	2. 県の関与は、調整役に徹し、公金の出資は望ましくない。今まで多くの血税が失われており、財政悪化の一因となっている。

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
525	受け皿金融機関は、何を県民から求められているかを基準として選ばれることが最も重視されるべき 受け皿金融機関に求められる活動方針は次のとおり 1. 足利銀行の貸出先を再度「ふるい」にかけることなく引継ぎ、育成、支援を図ること 2. 足利銀行が譲渡した債権の企業の財務内容、経営動向を検討し、再生のための支援を行うこと 3. 大都市・海外進出失敗の撤を踏まず、地域経済に配慮した融資姿勢をとること 4. 地域社会への貢献に積極的に参画すること	
526	1. 足利銀行の望ましい受け皿 国、県、地元資本(民間、公的機関、金融機関)の出資による新設銀行 地域重視の明確な経営ビジョン 県は、受け皿の「あり方」の決定に関与し、百年銀行を創出 異業種との連携により、多様な経営資源を持つ新型銀行として全国にアピール	2. 望ましい受け皿の実現に向けた県の関与 栃木県は新設銀行へ出資する。 相応の期間、栃木県は新設銀行の「あり方」に関与する。 出資金は相応の成果を得て回収する。
527	現状の維持をお願いいたします。	
528	現状の維持をお願いいたします。	
529	足利銀行様とは以前から御利用をさせていただいているので、どうか現状どおりの営業ができますようお願いしたい。	
530	今のまま足銀であってほしい。昔から利用してるし、栃銀はサービスが良くないと思う	
531	①経営の安定している都銀がいいと思う	②出資はやめてもらいたい
532	①栃銀以外の銀行	②別にありません
533	1・安定している都市銀行がいいと思う 2・県内の地銀だとまんがいち不安定になったときに県内の経済がくずれるので全国の安定しているところがいいとおもう	県の出資はいいが県民の負担が大きくなるのはさけてもらいたい
534	都市銀行	とくにありません。
535	安定した都市銀行が受け皿として欲しい。	
536	1.県民銀行とすべし、これまで全面支援してきた県、市町村、県内企業、そして県民に対しこれまで以上のサービス、利便をもって再生させるにはこの方法しかありません。	2.必要な出資は県であれ各市町村、企業、個人を問わずやるべきである。
537	足利銀行の受け皿としては、栃木県がを支えて行くのが良いと思います。	
538	受け皿は、栃木銀行が良いと思います。	
539	足利銀行の受け皿銀行は栃木銀行が良いと思います。	
540	栃木銀行が良いと思っています。	
541	栃木銀行が良いと思う。	
542	(1)栃木銀行が良いと思います。	
543	①足利銀行の望ましい受け皿について。 栃木銀行以外の都市銀行を希望します！！	②特にありません
544	栃木銀行が良いと思います	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
545	特に意見はありませんが 足利銀行の安定運営が経済の安定につながる事で 早く受け皿の決定を期待希望します	
546	栃木の大手足銀の現状維持を望みます。	
547	足利銀行の受け皿銀行として栃木銀行を選択するという動きについて、栃木銀行は足利銀行のように栃木県に根差した銀行ではなく、足利銀行の受け皿としては役不足の様に思います。	
548	県内工業団地の立地企業は数多くが他県資本の企業であり、本県資本の企業は中小零細が数多いことを先ず認識し足銀問題を論じる必要があります。 ①足利銀行の望ましい受け皿 地域に根ざす銀行であること。よって営業譲渡、株式譲渡はありえない。主体性を持たせた合併であるべき。	②望ましい受け皿の実現に向けた県の関与 合併の第2号を考えます。 受け皿を県内の信金(栃木銀行ではシェアの問題があり優良企業は離れる)とし県も出資し新設合併の銀行を設立する。
549	足利銀行は宇都宮の宝いや栃木の宝である 負けずに頑張してほしい	
550	基本的にこれまでと同様の地域金融サービスがうけられる受け皿が望ましいと考えます。外資系企業の投資対象になったり、特定企業の営利戦略の道具に使われたりするのは最悪であり、地方銀行の特性と地域公共公益機関としての役割を尊重できる体制であれば、県が出資してもしなくても構いません。金融行政の厳しい指導方針もあり、最近「晴れた日に傘を貸し、雨の日に傘をとる」銀行がほとんど(地元金融機関も含めて)であり、取引先との適正なコミュニケーションが過度に不足しているように思えます。真に厳しさと理解力を兼ね備えた地元密着型銀行が理想であり、その実現の為に、行員の資質が全てであると思いますが、満足度はともかく、比較対照する中では今の足銀のスタッフは良質でしょう。現在の人的資源を最大活用できるような受け皿の実現を希望します。	地方銀行の特性と地域公共公益機関としての役割を尊重できる体制であれば、県が出資してもしなくても構いません。
551	健全化を徹底し足銀自体が元の状態に戻すことが一番望ましい。 理由は、県内の多くの企業や県民が足利銀行の増資に協力した。私も増資に協力した一人である。なぜ協力したかという、足銀は県民にとって必要不可欠であり、今後も県民とともに歩んでいくという強い認識があったからである。受け皿は外資系金融機関にという話もあるが、上記の理由により反対である。地域に根ざした信金の良さと足銀の良さをミックスさせ地域ばかりでなく国際化にも対応できる金融機関にする。	
552	単独で続けて欲しいです。 県民の多くはモラルと公正さを問題にしておりこれをクリアする対策を講じるのは当然でありこの点は十二分に議論を要することです。	
553	足利銀行とは、長年の取引と信頼関係もあるので、これまで通りの営業が継続できる方向で是非とも検討頂きたい。 国に対する提言も県民に対するメッセージも知事の大きなイニシアチブを期待します。	
554	①大手都市銀行が望ましい 地銀では第二足銀の恐れ	②出資すべきでない 独立性の保持

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
555	<p>今、危機に陥っている足利銀行に対し、私共一般県民は何もすることが出来ず、心だけを傾けながら手を拱くばかりです。</p> <p>確かに増資等の段階で、沢山の企業や個人が足銀を救おうと思い、負荷を居った場面は有りましたが、今後、栃木県を、そして中心となる宇都宮を変えて行く為には、足銀なくして”経済立て直し”は有り得ないと考えます。</p> <p>やっと市長も県知事も代わり、船田先生を柱に新生栃木を夢見る時が来ようとしているのです。私は、今後も足利銀行が現状通りの営業を続けられます事を切に願って止みません。</p>	
556	<p>足利銀行には多額の税金を使っても破綻しました。それなのに、更に、また、税金を使って再生をやっているようですが、こんな足利銀行が再生することに税金が使われるなんて絶対に許せません。</p>	<p>足利銀行には多額の税金を使っても破綻しました。それなのに、更に、また、税金を使って再生をやっているようですが、こんな足利銀行が再生することに税金が使われるなんて絶対に許せません。</p>
557	<p>足利銀行には多額の税金を使っても破綻しました。それなのに、更に、また、税金を使って再生をやっているようですが、こんな足利銀行が再生することに税金が使われるなんて絶対に許せません。</p>	<p>足利銀行には多額の税金を使っても破綻しました。それなのに、更に、また、税金を使って再生をやっているようですが、こんな足利銀行が再生することに税金が使われるなんて絶対に許せません。</p>
558	<p>私にとっては足銀は今迄大変とお世話になりましたし、なくてはならない銀行でして、私の地元の発祥でなをさらです。そういう思いで今後も地元の為に銀行として継続するのが望ましいし、足銀に一括譲渡することが良い。他の銀行や特に県外、外資は全くもって好ましくない。足銀に頑張って欲しい。</p>	
559	<p>県民が株券を購入してまで存続させようとした、古くから馴染みある足銀を別名銀行にしてしまうことは、県民を蔑ろにしていることになるのではないのでしょうか。そして、仮に県内の大手銀行に吸収されたとして、それは、独占となり、サービスの低下や他銀行の業績の悪化となることは目に見えております。出資は受けても足銀という銀行は存続させるべきだと思います。</p>	
560	<p>足利銀行としてずっと残ってほしいです 足利銀行は私にとっても栃木県にとっても大切な銀行です がんばってほしいです</p>	
561	<p>足利銀行の望ましい受け皿について、都市銀行にしてほしい。</p>	<p>県の関与は、してほしくない。</p>
562	<p>1.三井住友銀行がいい。</p>	<p>2.受け皿が決まり次第、すぐに地方銀行としての役割が果たせるように、今のうちから円滑に準備をしておいてほしい。無駄な使いかたをしないならば県の出資もやむを得ないと思う。</p>
563	<p>足利銀行の名前で残してほしい。今までどおり親しみのある身近な銀行で新たにスタートし、ガラス張りでお客さま重視の銀行になってください。新しい足利銀行として存続を強く希望致します。</p>	
564	<p>足利銀行は栃木県民の銀行だと思います足利銀行と聞けば栃木県のイメージが他県の方にもあると思います。県民の銀行足利銀行を現状のまま存続して下さい</p>	
565	<p>このまま、相続してほしい。</p>	
566	<p>足利銀行の望ましい受け皿は安定している都市銀行がいいと思います。</p>	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
567	1・安定している都市銀行がいいと思う	2・県内の地銀だとまんがいち不安定になったときに県内の経済がくずれるので全国の安定しているところがいいとおもう、県の出資はいいが県民の負担が大きくなるのはさけてもらいたい
568	都市銀行が望ましい。	
569	長い間、本県に貢献した足利銀行を継続してほしい。例えば、栃銀が受けた場合県内のシェアの割合が多くなり、地場産業は融資が受けられなくなり倒産企業が相当数ある	
570	足利銀行の名前で残してほしい。旧経営陣は居なくなるので、これからは、健全経営で、新しい足利銀行で地域の為に頑張ってほしい。	
571	現在そのまま足利銀行単独で継続したほうが良いと考えております。理由としては、現時点で足利銀行が50、栃木銀行が20であり、もし足利銀行が栃木銀行を受け皿にしまうと、栃木銀行が70になってしまいます。そうなってしまうと様々な問題もでてくるのではないのでしょうか。	
572	足利銀行は長年にわたり栃木県の経済を支えてきた銀行。その影響力を考えると、なんとか立ち直り、健全な地方銀行として頑張ってほしい。	そのために栃木県自体が何らかの形で経営に参加する銀行になって欲しい思います。
573	栃木県としてはしっかりと日本企業が、受け皿銀行に成るように努力して欲しい。もし外資系の企業しか現れ無い時は、県の関与も致し方ない。出来るならば、県内企業(金融機関、又は企業数社)が、受け皿銀行と成れる用頑張って欲しい。	#REF!
574	足利銀行は、古くから私たち県民の多くの生活・経済を支えてきています。これからは、たとえば県民銀行といった形での姿で残したいものです。	その為には県からの出来る範囲での出資を含め政府への働きかけをおおいに望みたいものでございます。
575	足利銀行が無くなってしまうと県民生活や県内経済に大きな支障がでてしまうと思います。できれば県民銀行という形で県の方に頑張ってほしいです。	できれば県民銀行という形で県の方に頑張ってほしいです。
576	1.受け皿については、経営が安定している都市銀行がいいと思います。	2.県の関与については、一番被害を受けたのは県民だと思います。そう考えた時、県が出資者となり、今後の銀行のあり方に県民の立場に立って舵取りをして頂きたい
577	単独での再生が出来ればいいと考えています。他の金融機関での受け皿も悪くはないのですが、一つの銀行に集中しすぎるのもサービス等の事を考えると、競争原理が働く可能性があるからです。何とか単独での再生が出来るように努力してほしい	
578	単独での再生が望ましいのではないだろうか	
579	1. 独立した銀行として、名称も「足利銀行」として存続することが望ましい。足利銀行は栃木県内におけるシェアは圧倒的に高く、県民からも古くから愛親まれてきた銀行であり、今や経済活動や生活から切り離すことの出来ない極めて重要な存在である。今後とも地域に密着した経営方針に添って、県民生活安定のため、地域経済発展のための営業を展開して欲しい。	2. 受け皿の選定は金融庁主導であるが、今回の意見集約を踏まえ栃木県の強力なリーダーシップを発揮願いたい。県として受け皿の出資に留まらず県内地公体も積極的に参加する事により影響力を強めて頂きたい。栃木県および県内市町村も指定金融機関を任せ金融機関となると思われるので外資系の金融機関は絶対避けるべきである。なお、金融、経済安定促進のためにも1日も早い受け皿の決定を願いたい。

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
580	<p>(1)県民銀行構想や栃木銀行などさまざまな可能性が取りざたされているが、今はまだ具体的に言える段階ではない。確実にいえるのは、地域の発展に目を向け地域に根ざした銀行として足銀を活用していくところが望ましいということだけ。ただし、上記の二つは除外すべきであると思う。県民銀行にすると、ただでさえ七千億円以上といわれる公的資金が注入された上に、県内で大きなシェアを占める銀行の誕生という非常にアンフェアな印象を与える事態になる。また、栃銀にすると県内で巨大なシェアを持つ銀行が誕生し、健全な競争原理が働かないようになる。県内産業の振興を図り、より発展していくためには地場産業の復活が欠かせない。債務超過に陥っている中小企業などに対して、的確なコンサルティングを行い、粘り強く業績の回復をとともに図っていくことが欠かせない。このような関わり方をしてくれる受け皿を探すことが大切であろう。</p> <p>(2)早急に受け皿への移行を進めるべきではない。破綻後1年しても、特に今のところ大きな混乱は起こっていない。また、業績も堅調で貸し倒れ引当金が上積みされているなど、経営自体は安定している。確かに今後2年以内で、六千億円近くの不良債権処理を進めなければならないなど予断は許さないが、県は大きく関わるべきではない。ただでさえ巨額の公的資金が注入されている上に、県からさらに資金を注入するのは、行政の金融への余計な介入を招くことになるだろう。中小企業には息の長い再建支援が必要だと言いながら、足銀へは公的資金の注入による急速な回復を求めようとするのは誤りであろう。県は、先の長い県内経済再建プランを策定するべきであり、その中の一部として地域により必要とされるような存在として、足銀が引き継がれるように働きかけるべきである。そういう文脈の中で、国へと過剰な介入をしないように働きかけていくことが必要であろう。</p>	
581	都市銀行	県税なのであまり関与は望ましくない
582	足利銀行の受け皿には栃木銀行が最有力候補だという話をよく耳にしますが、私は地方銀行ではなく都市銀行に受け皿になってもらった方がいいと思う。足銀と栃銀が合わされば県内のシェアはかなり大きくなりますが、万が一栃銀も経営が危なくなってしまうと県内の経済は大きく狂ってしまうのではないかと思います。受け皿にするのであれば栃銀以外をお願いします。	
583	(1) 地域に密着した県民の金融機関の選択肢を確保し、他行との競争により質の高いサービスを受けるためにも他との合併より、これまでの地域貢献度実績があり、また新経営陣のもとで今までの強みを活かし生まれ変わる足利銀行単独の再生を望みます。	(2) 自力でも資本を集められるのではないか。
584	営業を一括して譲渡する方法がいい。受け皿銀行は、やはり栃木銀行しかない。	県は、お役所なのでから実現に向けて努力されるのは県民のためになると思いますが、税金を使うのはどうかと思う。税金は、1企業のために使うのではなくみんなのために使ってほしい。こんなに借金が多いとは思いませんでした。
585	栃銀はやめておいたほうが良いとおもいます。栃銀を受け皿にすれば、顧客シェア80%以上しかし、もし栃銀に何かあった時栃木県は大打撃を受けます。なら、さくらや、りそなどの都銀を受け皿にしたほうが。私は良いと考えています。どうか、よく考えて決めて下さい。	

## 「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
586	現状維持でお願いします！！	
587	親しみのある足銀を名前だけでもこのまま残して欲しいと思う	
588	県民の受け皿銀行として、足利銀行に存続していただきたい。	
589	足銀の請負会社なのですが、このまま足利銀行と言う名前と会社自体を存続して頂きたい。 昔から足銀と言う名前もひたしんでいた為、無くなる事は大変残念！どうぞ、宜しいお願い致します！！	
590	栃木県にとって古くからの足銀をなくしてほしくない。存続してくださいがんばれ！！	
591	今後とも足利銀行として存続していただきたい。栃木県には足利銀行が必要	
592	県内多数の企業や県民との取引のシェア・状況を考えると、今が苦しい各取引先の企業などの状況を知り尽くしている足利銀行が必要	
593	足銀の営業規模を守る為には株式の一括譲渡が良い。 しかし、地元金融機関への譲渡は足銀のシェア規模から、益々独占となり、正当な競争原理が働かず消費者・県民にとって好ましくない。(栃木銀行に対して、現状では思ったほど県民が信頼していない。)また、これまでの実績から外資系は絶対に避けたい。盗人猛々しい。 都銀や、地銀の有力銀行、又は、県民銀行への譲渡が望ましい。	(2)について 県の経済安定化のためには一定期間必要である。また、これまでの県と足銀の関係からも当然に関与すべきである。県民も安心して応援できる。
594	そのまま継続が良い	
595	足利銀行にそのまま譲渡が望ましい。他の金融機関に受け皿をだすのは栃木県の経済がガタガタになると思います。	
596	足利銀行の一括譲渡が望ましい。他の銀行では今後が心配	
597	足利銀行のあり方は継続が望ましい	
598	足銀の継続を希望、一番大きい銀行で、地域との結びつきがあるので、他の銀行に譲渡されると、倒産する企業が発生するかもしれないので、足銀を存続してください！	
599	栃木県のメインバンクなので、中小企業や住人達に負担が掛からない様慎重に新受皿を決めてもらいたい。宇都宮地裁に元足銀頭取3人の損害賠償掛けられても当たり前！ミスで不良債権が膨らんだのも事実ですから。元足銀頭取から賠償金取って下さい。出来れば足銀の名前が変わらぬ様現状維持で頑張ってもらいたい！	
600	足利銀行は栃木県の経済に密着した銀行であり、譲渡するのではなく足利銀行が継続する形にするべきであります。譲渡をした場合に栃木県の経済に与える影響は計り知れ	
601	営業、株式の譲渡をせずこのまま足銀として存続させた方がいい	
602	営業、株式を譲渡せずこのまま足利銀行にして存続してください	
603	足利銀行の放漫経営を見過ごした監督官庁の責任は重い県は関与して困っている地元の会社を助けてほしい	

「足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集」で寄せられた意見

意見 No.	Q4.意見内容 (1)足利銀行の望ましい受け皿について	Q4.意見内容 (2)望ましい受け皿の実現に向けた県の関与(受け皿への出資の可否を含む。)について
604	栃木県民にとって足銀はかけがえのない存在であり、他の金融機関へ譲渡したりせず、足銀の永久存続が望ましい。足銀がなくなるのは、栃木県に多大な影響を与える。	
605	このまま足利銀行として継続してほしい。	
606	栃木県のメインバンクから足利の文字が消えるのは足利市民として悲しい	
607	(1)栃木県に本店をかまえ、地域(栃木県)経済の担い手となれる栃木銀行が常識的に妥当。地域経済発展に寄与することを経営理念に掲げる栃木銀行は受け皿指名を拒否するとは思えないし、栃木銀行を受け皿に指定しない(できない)納得のできる理由はないと思う。	(2)受け皿の希望(受け入れにあたっての条件提示)がない限り、県は出資すべきではない